

若者の地方体験交流の ご案内（2017年度版）



地域づくり

田舎ぐらし

仕事体験

おいしい空気、きれいな水

第2のふるさとづくり

国土交通省 国土政策局 地方振興課

国交省HPはこちら→



URL: http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html

募集地域一覧

国土交通省が把握した募集地域を案内するものです。

応募上の注意

- ここに掲載されている地域での体験に関するお問合せ、参加申込などは、各地域の担当者宛にお願いいたします。問い合わせ先は、募集要項にあります。
- 必ず希望する地域に連絡を取り、詳細（プログラム内容、受入期間、料金等）をご確認の上、直接ご応募下さい。

No.1	北海道帯広市	No.31	新潟県燕市	No.61	岐阜県白川村
No.2	北海道芦別市	No.32	新潟県妙高市	No.62	静岡県藤枝市
No.3	北海道芦別市	No.33	新潟県上越市	No.63	静岡県裾野市
No.4	北海道当麻町	No.34	新潟県上越市	No.64	三重県津市
No.5	北海道遠別町	No.35	新潟県佐渡市	No.65	三重県多気町
No.6	北海道遠軽町	No.36	新潟県佐渡市	No.66	京都府綾部市
No.7	北海道陸別町	No.37	新潟県佐渡市	No.67	奈良県下北山村
No.8	青森県十和田市	No.38	富山県高岡市	No.68	奈良県川上村
No.9	青森県十和田市	No.39	富山県高岡市	No.69	和歌山県有田市
No.10	青森県七戸町	No.40	富山県高岡市	No.70	和歌山県田辺市
No.11	岩手県久慈市	No.41	富山県朝日町	No.71	和歌山県紀美野町
No.12	宮城県石巻市	No.42	福井県福井市	No.72	和歌山県広川町
No.13	宮城県栗原市	No.43	福井県福井市	No.73	和歌山県有田川町
No.14	秋田県秋田市	No.44	福井県大野市	No.74	和歌山県那智勝浦町
No.15	秋田県秋田市	No.45	福井県大野市	No.75	岡山県井原市
No.16	秋田県鹿角市	No.46	福井県大野市	No.76	岡山県新見市
No.17	秋田県羽後町	No.47	福井県大野市	No.77	山口県宇部市
No.18	福島県喜多方市	No.48	福井県大野市	No.78	山口県長門市
No.19	福島県喜多方市	No.49	福井県大野市	No.79	徳島県上勝町
No.20	福島県喜多方市	No.50	福井県大野市	No.80	徳島県美波町
No.21	福島県南相馬市	No.51	福井県大野市	No.81	愛媛県内子町
No.22	福島県川俣町	No.52	福井県おおい町	No.82	愛媛県松野町
No.23	福島県猪苗代町	No.53	山梨県小菅村(※)	No.83	長崎県対馬市
No.24	福島県会津美里町	No.54	長野県飯田市(※)	No.84	熊本県宇城市
No.25	茨城県潮来市	No.55	長野県小海町	No.85	熊本県宇城市
No.26	千葉県銚子市	No.56	長野県辰野町	No.86	熊本県宇城市
No.27	新潟県長岡市	No.57	長野県飯島町	No.87	熊本県和水町
No.28	新潟県新発田市	No.58	長野県阿南町	No.88	鹿児島県さつま町
No.29	新潟県小千谷市	No.59	長野県豊丘村		
No.30	新潟県十日町市	No.60	岐阜県白川村		

注 参加申込書は最終ページにあります。なお、上記で(※)がある市町は指定の参加申込書で応募してください。

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 : ^{おびひろし}北海道帯広市 (人口: 168,018人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・とちかち帯広空港 (羽田空港から約 90 分)
 - ・JR帯広駅 (新千歳空港駅から約 150 分)
- ※とちかち帯広空港～JR帯広駅間は連絡バスにて約 40 分

(2) 事業実施の目的等

大都市圏をはじめとした全国の大学生に、日本有数の食料供給基地である十勝・帯広において、地域の基幹産業である農業の体験を通じて、十勝農業の特徴である大規模土地利用型農業への理解促進を図るとともに、農業の魅力発信、更にはリピーターによる交流人口の増大や地域農産物の販路拡大などに繋げることを目的とします。

(3) 体験の内容

- ・農業体験
日本有数の食料供給基地であり、見渡す限り広大な農地が広がる北海道十勝・帯広。その帯広市内にある受入農家においてジャガイモ、大根、長いもなどの収穫作業体験を通して、農業の大切さを理解する機会とします。
- ・キャリア発見プログラムへの参加
全国各地から集まる参加者との共同生活や、農業者をはじめとした様々な関係者との交流を通じて、社会生活を送る上での自分の軸や将来のキャリアビジョンを見出す機会とします。
- ・観光・交流体験
地域の観光資源やご当地グルメ、地域住民との交流を通して、十勝帯広の魅力を体感していただきます。

(4) 受入主体

帯広市

(5) 受入期間

2週間程度 (8月～9月、11月、3月を予定)
※詳しい日程は決まり次第、下記WEBサイトでお知らせします。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担なし 食事代：原則自己負担なし
①要件	農作業ができる健康な方 ※男女不問です。また農作業経験がなくても大丈夫です。
②応募締切り	随時 (ご相談ください)
③宿泊施設	共同宿泊施設での受入を予定
④食事形態	基本的に宿泊施設にて自炊
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

- ・帯広市では「フードバレーとちかち」を掲げ、基幹産業である農業を中心とした地域産業の振興に取り組んでいます。雄大な大自然や美味しい食べ物の魅力はもちろんのこと、地域で働く人々が笑顔とエネルギーに溢れていることが最大の魅力だと思います。
- ・農家や地域の人々だけでなく、他の参加者や人材育成コーディネーターとの対話を通じて自分を見出す「キャリア発見プログラム」になっていることも特徴です。
- ・担当者も大学生の時に本プログラムに参加したことがきっかけで、自分の生き方やキャリアビジョンを見出しました。参加を検討される皆さんの相談に乗ったり、アドバイスなどもさせていただきますので、まずは気軽にお問い合わせください！

(8) お問い合わせ先

自治体名 北海道帯広市	担当部署 農政部 農政課 農政係
(ふりがな) やまうち かずなり	TEL : 0155-59-2323 (直通)
担当者氏名 山内 一成	FAX : 0155-59-2448
E-mail : agri_center@city.obihiro.hokkaido.jp	
URL : https://www.facebook.com/wnoin/	
応募宛先 〒089-1182 北海道帯広市川西町基線 61 番地 帯広市農業技術センター	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 2 : 北海道^{あしべつし}芦別市 (人口: 14, 512人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

① JR=新千歳空港⇒JR函館線: 滝川駅⇒JR根室線: 芦別駅下車
② バス=新千歳空港⇒札幌駅前バスターミナル⇒高速バス: 芦別下車

(2) 事業実施の目的等

本市の産業においては、従業員の高齢化や人材確保が厳しい状況にあるとともに、基幹産業である製造業において、技術の継承・革新や新製品開発のための試験・研究分野を担う人材の確保・育成が必要な状況にあることから、企業ニーズに即した人材確保と就業機会の確保及び移住定住の促進を図る。

(3) 体験の内容

① 事前説明会
② 市内事業所(製造業)での就労体験

(4) 受入主体

・ 芦別市 ・ 市内事業所(製造業: 化粧品製造業)

(5) 受入期間

8月下旬の5日間(就労体験は3日間)を予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担(新千歳空港からは送迎あり) 宿泊費: 自己負担(※) 食事代: 自己負担(※) (※)市からの助成を検討中
① 要件	卒業後、地方での就職、U・I・Jターンを検討している大学及び大学院生
② 応募締切り	7月下旬(予定)
③ 宿泊施設	市内ホテル又は公共宿泊施設
④ 食事形態	朝食・夕食は宿泊施設で用意、昼食は各自で対応
⑤ その他	就労に必要な作業服、帽子、手袋等は各事業所で用意します。

(7) 地域担当者から一言

芦別市は、山林が全体の約88%を占め自然豊かな環境にあり、四季を通じて温暖で冬の積雪量も比較的少なく、地震や自然災害もほとんどありません。また、環境省から「星空の街」に認定され、「星の降る里・芦別」をキャッチフレーズとして、星を象徴としたロマンあふれる観光地でもあります。
 そんな芦別で、一人でも多くの若い方が次世代の担い手として活躍してもらえることを期待します。

(8) お問い合わせ先

自治体名	芦別市	担当部署	経済建設部 商工観光課 商工振興係
(ふりがな)	の ま ふみ ゆき	TEL:	0124-22-2111 (内線224)
担当者氏名	野間文之	FAX:	0124-22-9696
E-mail:	syoukou@city.ashibetsu.hokkaido.jp		
URL:	http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/		
応募宛先	〒075-8711	北海道芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市役所 商工観光課商工振興係	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 3 : 北海道^{あしべつし}芦別市 (人口: 14, 512人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

① JR=新千歳空港⇒JR函館線: 滝川駅⇒JR根室線: 芦別駅下車
② バス=新千歳空港⇒札幌駅前バスターミナル⇒高速バス: 芦別下車

(2) 事業実施の目的等

本市の産業においては、従業員の高齢化や人材確保が厳しい状況にあるとともに、基幹産業である製造業において、技術の継承・革新や新製品開発のための試験・研究分野を担う人材の確保・育成が必要な状況にあることから、企業ニーズに即した人材確保と就業機会の確保及び移住定住の促進を図る。

(3) 体験の内容

① 事前説明会
② 市内事業所(製造業)での就労体験

(4) 受入主体

・ 芦別市 ・ 市内事業所(製造業: 木材・木製品製造業)

(5) 受入期間

8月下旬の5日間(就労体験は3日間)を予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担(新千歳空港からは送迎あり) 宿泊費: 自己負担(※) 食事代: 自己負担(※) (※)市からの助成を検討中
① 要件	卒業後、地方での就職、U・I・Jターンを検討している大学及び大学院生
② 応募締切り	7月下旬(予定)
③ 宿泊施設	市内ホテル又は公共宿泊施設
④ 食事形態	朝食・夕食は宿泊施設で用意、昼食は各自で対応
⑤ その他	就労に必要な、作業しやすい(汚れてもよい)服装、軍手、帽子をご用意下さい。

(7) 地域担当者から一言

芦別市は、山林が全体の約88%を占め自然豊かな環境にあり、四季を通じて温暖で冬の積雪量も比較的少なく、地震や自然災害もほとんどありません。また、環境省から「星空の街」に認定され、「星の降る里・芦別」をキャッチフレーズとして、星を象徴としたロマンあふれる観光地でもあります。
 そんな芦別で、一人でも多くの若い方が次世代の担い手として活躍してもらえることを期待します。

(8) お問い合わせ先

自治体名	芦別市	担当部署	経済建設部 商工観光課 商工振興係
(ふりがな)	の ま ふみ ゆき	TEL:	0124-22-2111 (内線224)
担当者氏名	野間文之	FAX:	0124-22-9696
E-mail:	syoukou@city.ashibetsu.hokkaido.jp		
URL:	http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/		
応募宛先	〒075-8711	北海道芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市役所 商工観光課商工振興係	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

とうまちょう

No. 4 : 北海道当麻町 (人口: 6, 637 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

受け入れ主体の当麻町(農業振興課)庁舎所在地まで、旭川空港から自家用車で30分、または、JR石北線当麻駅下車徒歩1分

(2) 事業実施の目的等

北海道のど真ん中、大雪山の麓に広がるこの当麻町の各所で行われる、人と仕事と風土を知るための体験活動から、この町ならではの魅力を感じ取っていただき、その魅力を生かした新たな地域づくりとは何か、この町の生活者とは異なる視点・見方で発見していただき、今後のまちづくりの一案とさせていただけることを期待しています。

また、貴重なこの経験から、当麻町が皆さんの第2のふるさとになることを念願しています。

(3) 体験の内容

農業体験・・・北海道一の米産地であるとともに、「でんすけすいか」などの施設野菜や花の栽培が盛んな当麻町の基幹産業である農業について、野菜の栽培から出荷まで農家が行う一連の作業を体験します。

福祉体験・・・国内におけるノーマライゼーション運動を牽引する社会福祉法人当麻かたるべの森が所有する22haの癒しの森「かたるべの森」にて、同法人のアウトドア事業セクションの補助スタッフとして、知的ハンディを持つ同森利用者の支援に当たります。

資源調査・・・上記体験分野をはじめ、環境・観光等あらゆる資源のまちづくり案を町職員と検討します。また、単一の町だけに止まらない広域的な地域づくりを検討する観点から、近郊の観光地への訪問、または、大雪山トレッキングを行う等して広域的な観光資源や自然資源、さらには、まちづくり策の掘り起こしも行います。

地域行事参画・・・地域で行われる大小イベントに参加し、幅広い交流を図ります。

体験報告会・・・体験調査活動の報告会を行います。

(4) 受入主体

当麻町

(5) 受入期間

7月下旬から8月下旬までの間の連続2～3週間で調整

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 宿泊費・食事代・交流会費・資源調査時施設入館料等 : 自己負担はなし
①要件	20歳代の都市圏に在住する大学生・大学院生。 生産活動としての農業をはじめ、農と福祉または環境との連携等の農を生かした地域づくり、さらには自然環境を生かした地域づくりなどに興味があり、積極的に地域に入っていきける健康で明るい方。 募集人員は2名で性別は問いません。
②応募締切り	6月9日(金)必着。別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送願います。
③宿泊施設	ファームステイ、民泊、当麻かたるべの森「かたるべホール」
④食事形態	宿泊先が提供。資源調査時は当麻町が提供。
⑤その他	各種体験活動で行われる作業について、各自の要望や体力に応じたメニューを設定するほか、受入期間並びに詳細等、何なりとご相談に応じますので、下記担当者までお気軽にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

全国的にも有名な「でんすけすいか」のまち当麻町。また、「田んぼの学校」という子どもたちが自ら育てたお米を日々食する食農教育の体験や、命を尊び、郷土を愛し、健全な心を育てる教育に力を入れています。

未知の場所での農体験や地域行事への参加、田畑や山をバックにしたのフィールドワークは、将来の仕事や生き方にとつともなく強烈な原体験となるでしょう。

意欲ある皆さんの来町を心からお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名	当麻町	担当部署	農業振興課 農政係
(ふりがな)	たにぐち ようこ	TEL	: 0166-84-2123
担当者氏名	谷口 陽子	FAX	: 0166-84-4125
E-mail	: taniguchi-y@town.tohma.hokkaido.jp		
URL	: http://town.tohma.hokkaido.jp/nougyouninaite/		
応募宛先	〒078-1314 北海道上川郡当麻町4条東3丁目4番63号 当麻町役場農業振興課		

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. 5 : 北海道遠別町 (人口: 2, 806 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

【沿岸バス】特急はぼろ号 札幌駅前ターミナル ~ 沿岸バス遠別営業所 (約4時間)
沿岸バス円別営業所から徒歩5分程度

(2) 事業実施の目的等

『人と人とのつながりを大切にする』をテーマとした交流体験に参加してもらい、地域の人たちとの交流、生活体験を通じて遠別町の「人と地域」に魅力を感じ、『別に遠くないまち えんべつ』を知ってもらい、若い世代が地方への就業・移住のきっかけづくりになることを目的とします。

(3) 体験の内容

- ・体験プログラム：フォトトリップ、えんべつ旬のグルメ体験、羊のふれあい体験など
(遠別町の産業や地元産品を堪能、地域の人との交流体験)
- ・その他：参加する時期により体験可能なプログラム等をご提案します

(4) 受入主体

NPO法人 えんべつ地域おこし協力隊

(5) 受入期間

通年 (事前に要相談)
3~5日間程度予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：本人負担 宿泊費：本人負担 (1日1千円 → 例：4泊5日 5千円) 食事代：本人負担
①要件	・地方での生活、地域活動に興味がある方 ・ゆっくりとした時間、豊かな自然、地域の人との交流に関心がある方
②応募締切り	随時 (希望する日程の約1ヶ月前に事前のご相談をお願いします)
③宿泊施設	遠別町移住交流支援センター「ぴーぷる」 ・参考URL： http://www.town.embetsu.hokkaido.jp/ijuu/people/
④食事形態	宿泊施設での自炊等が基本となります
⑤その他	この体験に参加するにあたってのご相談や詳細については、下記の担当者までメール、電話等でお気軽にお問合せください

(7) 地域担当者から一言

遠別町は、人口の少ない小さな町だからこそ『人と人とのつながりを大切に』しており、地域と人を身近に感じられる町です。また、日本最北の米どころであり、漁業や酪農などの第一次産業を主体とした「食・文化・人々」を通じて楽しんでいただきたいと思いますので、皆さんの参加をお待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名	北海道 遠別町	担当部署	総務課 企画振興係
(ふりがな)	のむら たつひろ	TEL	: 01632-7-2111 (内線: 217)
担当者氏名	野村 達宏	FAX	: 01632-7-3695
E-mail	: kikaku@town.embetsu.hokkaido.jp		
URL	: http://www.town.embetsu.hokkaido.jp/		
応募宛先	〒098-3543 北海道天塩郡遠別町字本町3丁目37番地 遠別町役場 総務課企画振興係		

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 6 : ^{えんがるちょう} 北海道遠軽町 (人口: 20,717人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

1. JR石北線 白滝駅から車で5分
2. JR石北線、遠軽駅、遠軽バスターミナルから車で20分
3. JR石北線 白滝駅から車で3分

(2) 事業実施の目的等

都市から若者に来てもらうことで、交流人口の拡大や地域の活性化を図るため。

(3) 体験の内容

1. 田舎暮らし体験 (農業体験、薪割り、星空観察等)
2. 酪農体験 (搾乳、牧場の仕事、牛とのふれあい体験、バター作り等)
3. ジオツアー (黒曜石原産地赤石山を巡るバスツアー)

(4) 受入主体

1. えづらファーム
2. みどり牧場
3. 遠軽町

(5) 受入期間

1、2: 通年
3: 7~10月の土日祝日 (期間限定)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費、宿泊費、食事代、参加費: 自己負担
①要件	自然体験や遠軽町に興味のある方
②応募締切り	随時
③宿泊施設	旅館、ビジネスホテル等の宿泊施設を各自で手配
④食事形態	各自
⑤その他	1、2: 汚れてもよい服装。冬期間は防寒具等の寒さ対策が必要。 3: 登山に適した格好。悪天候等により中止の可能性有。

(7) 地域担当者から一言

遠軽町でしか味わえない体験を、ぜひ満喫してください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 遠軽町	担当部署 総務部 企画課 企画担当
(ふりがな) はら けんや 担当者氏名 原 健也	TEL: 0158-42-4818 (直通) FAX: 0158-42-3688
E-mail: kikaku@engaru.jp	
URL: http://engaru.jp	
応募宛先 〒099-0492 遠軽町1条通北3丁目1-1 遠軽町役場総務部企画課	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 7 : 北海道陸別町^{りくべつちょう} (人口: 2, 497人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR根室本線 池田駅下車 十勝バスふるさと銀河線池田バス停から陸別バス停
女満別空港から車で約1時間10分

(2) 事業実施の目的等

北海道への移住を目指している首都圏の大学生を対象に、日本一寒い町を全国に発信している陸別町が、基幹産業の担い手を確保するため、職業体験を通じて人材育成プログラムを実施するものです。(平成29年度より町全体で協議会を設置予定)

(3) 体験の内容

陸別町の基幹産業である酪農・林業が抱える人材の不足への打開策の一つとして、民間企業、大学等の教育機関との連携を行う。大学・学校・旅行関係者と連携して若者の林業体験の場を提供。周知・理解を推進することで将来酪農・林業に関わる人材のすそ野を広げる。酪農、造林業、造材業を中心に「農林業体験」をしながら、職業観を養う。

(4) 受入主体

陸別町

(5) 受入期間

9月上旬予定
6日間予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加者負担金2万円を予定しております。
①要件	北海道外の大学生8名予定
②応募締切り	未定(周知方法未定)
③宿泊施設	陸別町銀河の森コテージ村、陸別町ちよっと暮らし住宅予定
④食事形態	食事付き(3食)
⑤その他	参加者8名は、選考によって決定いたします。

(7) 地域担当者から一言

ご応募お待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 陸別町役場	担当部署 総務課企画財政室
(ふりがな) うけがわ よしひろ 担当者氏名 請川 義浩	TEL: 0156-27-2141 (内線215) FAX: 0156-27-2797
E-mail: kikaku_@rikubetsu.jp	
URL: https://www.rikubetsu.jp	
応募宛先 〒089-4300 北海道足寄郡陸別町字陸別東1条3丁目1番地	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 8 : 青森県^{とわだし}十和田市 (人口: 62,943人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

七戸十和田駅(東北新幹線) — 十和田市中央 バス停(十和田観光電鉄株) — 道の駅とわだ 匠工房 (30分) (タクシー20分)
--

(2) 事業実施の目的等

十和田市は古くからの馬産地であり、馬の飼料用作物であるデントコーンの皮の再利用のため、きみがらスリッパを製作してきました。スリッパをひとつずつ編んでいく作業は手間がかかり、熟練者でも一日に作れるのは1足程です。

当組合員と一緒にきみがらスリッパの製作体験することで、手づくりの良さに触れることを目的としています。

(3) 体験の内容

きみがらスリッパの製作体験 (午前10時～午後3時 ※昼休憩1時間含む)

(4) 受入主体

十和田きみがらスリッパ生産組合

(5) 受入期間

毎月 第3日曜日

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 料金: 3,500円 (材料費含む)
①要件	無し
②応募締切り	実施日の1週間前の事前予約が必要です。
③宿泊施設	宿泊無し
④食事形態	各自
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

昭和38年3月に「十和田きみがらスリッパ生産組合」が設立し、きみがらスリッパの生産、普及、販売に努め、十和田市特産品として全国にその名を知られるに至っています。

軽くてむれない、そしてはく人の足型や体温まで覚えこむような“形状記憶”スリッパの製作体験をしてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 青森県十和田市	担当部署 農林部 とわだ産品販売戦略課
(ふりがな) あいづ けんたろう 担当者氏名 会津 健太郎	TEL: 0176-51-6746 (直通) FAX: 0176-22-9399
E-mail: kimigara2@gmail.com	
URL: http://www.aptnet.jp/Detail_display_00001569.html	
応募宛先 〒034-8615 青森県十和田市西十二番町6-1 十和田きみがらスリッパ生産組合 事務局 (十和田市農林部とわだ産品販売戦略課 内)	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 9 : 青森県^{とわだし}十和田市 (人口: 62,943人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

七戸十和田駅(東北新幹線) — 十和田市中央 バス停(十和田観光電鉄(株) 路線バス) — 十和田市役所 (30分) (徒歩 10分)
--

(2) 事業実施の目的等

農業体験を通じて、農作物について学ぶことや発見することの素晴らしさを分かち合いたいと考えています。
また、自然豊かなこの地で一緒に農作業をして寝食を共にすることで、田舎の文化や知恵を学んだり、人と人との温かさや食の大切さを肌で感じるができるでしょう。

(3) 体験の内容

農業体験 (田植え、ニンニク・ナガイモ・ゴボウ・ネギの植え付け、収穫など)
農家民泊

(4) 受入主体

十和田農業体験連絡協議会

(5) 受入期間

随時

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 料金: 要相談 (例: 1泊2日、3食、農業体験(午前・午後)付 9,400円)
①要件	農業や農家生活に興味のある方
②応募締切り	随時
③宿泊施設	農家民泊
④食事形態	食事体験 (共同で調理) として提供
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

当協議会では、食の大切さや心とココロのふれあいを実感できる交流体験を実施しています。野菜を収穫し、育てる現場での体験や農家での団らんを通して、ココロでしかできない体験をしていただきたいと思ひます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 青森県十和田市	担当部署 農林部 とわだ産品販売戦略課
(ふりがな) あいづ けんたろう 担当者氏名 会津 健太郎	TEL: 0176-51-6746 (直通) FAX: 0176-22-9399
E-mail: sanpin@city.towada.lg.jp	
URL: http://www.city.towada.lg.jp/docs/2016122800051/	
応募宛先 〒034-8615 青森県十和田市西十二番町 6-1 十和田農業体験連絡協議会 事務局 (十和田市 農林部 とわだ産品販売戦略課 内)	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 10 : 青森県^{しちのへまち}七戸町 (人口: 16, 291人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

七戸十和田駅 (東北新幹線) — 七戸町役場 (車 10分)

(2) 事業実施の目的等

この会は、自主的な会員相互の連携によるグリーン・ツーリズムの積極的実践をめざすものである。都市との交流により農家や高齢者等の生きがいがづくり、更には地域住民相互の親睦を深め地域活性化を推進することを目的とする。

(3) 体験の内容

農業体験 (にんにく・長いも・ごぼう・トマト・りんごの収穫体験など)
食文化体験 (かだれ御膳・にんにくピザ・長いもすいとん・そばうち・ダッチオーブンなど)
創作体験 (かぼちゃランタン・吊るし飾り・かご (クラフト・藤) など)
和の心体験 (着付け・三味線・茶道など)
雪国体験 (スノーウォーキング・雪だるま・かまくらなど)

(4) 受入主体

七戸町かだれ田舎体験協議会

(5) 受入期間

随時

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費等: 要相談 (1泊2日、3食、農業体験1回付 9,200円) ただし、3人以下の場合は料金が異なりますのでご相談ください
① 要件	健康な方で、画像をかだれ田舎体験協議会のPRに使用しても可能な方
② 応募締切り	随時 (ただし、2週間前までの申し込み)
③ 宿泊施設	農家民宿
④ 食事形態	農家より提供
⑤ その他	

(7) 地域担当者から一言

当協議会では、農業体験の外に食文化体験などのメニューが有り、農業体験をした後に農家と食事体験が出来るなど様々なメニューを取りそろえております。ちなみに、『かだれ』とは、七戸町の属する青森県南部地方の方言で、「仲間になって」と「語ろうよ」の二つの意味があります。

(8) お問い合わせ先

自治体名	青森県七戸町	担当部署	農林課
(ふりがな)	てん ま ひで き	TEL: 0176-68-2116 (直通)	
担当者氏名	天 間 秀 喜	FAX: 0176-68-2804	
E-mail	shichinohekadare@gmail.com		
URL	http://www.shichinohe-kankou.jp/kadare		
応募宛先	〒039-2792 青森県上北郡七戸町字森ノ上 131-4 七戸町かだれ田舎体験協議会 (七戸町役場 農林課内)		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 1 : 岩手県久慈市 (人口: 36, 141人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京駅から二戸駅で約3時間 (東北新幹線利用) 九戸ICから車で約60分 東北新幹線二戸駅から接続リレーバスで約70分

(2) 事業実施の目的等

①地元の方の温かさに触れ、久慈市のファンとなっていきたい。 ②都心では体験できない経験をして地方に興味関心をもっていただきたい。

(3) 体験の内容

【1】修学旅行及び野外体験活動に係る受入補助 【2】キャンプ受入補助 (グループスタッフとしてキャンプ参加者と行動を共にする)
--

(4) 受入主体

岩手県久慈市

(5) 受入期間

【1】 通年 【2】 7月30日～8月3日の4泊5日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 東京駅から二戸駅利用の場合約30,000円 (東北新幹線利用 往復料金) 二戸駅からスワロー号約3,000円 (往復料金)
①要件	大学生若しくは大学院生で地域活性化に興味関心がある方。
②応募締切り	原則1ヶ月前にはお問い合わせください。
③宿泊施設	【1】平庭山荘及びきのこ屋 【2】内間木キャンプ場
④食事形態	【1】宿泊施設から全て提供 【2】キャンプ参加者と共同自炊
⑤その他	動きやすい服装をご用意してください。

(7) 地域担当者から一言

久慈市は体験型観光の推進に力を注いでおります。そのため若い方の視点で新たな体験プログラム開発・改良するための意見が必要です。また、SNSで情報発信し久慈市をPRして頂ければと思います。 地元の方、生徒と世代を超えて交流の輪を広げましょう。
--

(8) お問い合わせ先

自治体名 岩手県久慈市	担当部署 産業経済部 観光交流課 交流推進係
(ふりがな) ふじもり しゅうへい 担当者氏名 藤森 崇平	TEL: 0194-52-2168 (直通) FAX: 0194-75-3536
E-mail: Shu-fujimori@city.kuji.iwate.jp	
URL: http://www.city.kuji.iwate.jp/	
応募宛先 〒028-8030 岩手県久慈市川崎町1-1 久慈市産業経済部観光交流課 若者の地方体験交流 係	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 12 : 宮城県石巻市いしのまきし (人口: 147,627人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 仙石線・JR 石巻線/石巻駅

(2) 事業実施の目的等

石巻市の企業へのインターン、地元の一次産業の体験、起業家を招いてのワークショップ等の場を提供し、地方での起業に対する関心を図る。
また、地域のイベントへの参加や地元住民との交流等を図り、石巻市の魅力を伝える。

(3) 体験の内容

- ・地元企業へのインターン
- ・一次産業体験 (農業・漁業体験)
- ・地域で活躍する起業家を招いてのワークショップ
- ・地域イベントへの参加や地元住民との交流

(4) 受入主体

コンソーシアム 「ハグクミ」

(5) 受入期間

8月中

※「ハグクミ」市内の4つ団体のコンソーシアムで、石巻市移住交流事業委託事業者であり、かつ、全国自治体広域連携のローカルベンチャー推進協議会石巻ローカル事務局であります。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：検討中 食事代：自己負担
①要件	地方での起業に関心のある方
②応募締切り	2017年7月10日まで 指定の参加申込書等は、5月初旬頃にホームページに掲載しますので、必要事項を記入のうえ、応募宛先までメールをお願いします。 ※「石巻を選ぶ」URL http://ishinomaki-iju.com/
③宿泊施設	
④食事形態	
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

2011年3月以降、被災地見学やボランティアなどをきっかけに新たな人の交流が起こることで、多種多様なアイデアが生まれ、活気に溢れている石巻市です。
著名人や起業家などが足繁く訪れる中で、チャンスが多く潜在する街であり、また、幅広い分野から起業家が生まれた実績もあります。
「やりたい事を仕事にしたい」という皆さん、石巻市でローカルベンチャーを学び、まちを面白くしてみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名 宮城県石巻市	担当部署 復興政策部 地域振興課 地域振興グループ
(ふりがな) もんま かずや 担当者氏名 門 間 一 也	TEL : 0225-95-1111 (4244) FAX : 0225-22-4995
E-mail : islocpromo@city.ishinomaki.lg.jp	
URL : http://ishinomaki-iju.com/	
応募宛先 石巻市移住コンシェルジュ 宮城県石巻市中央10-2 新田屋ビル1 IRORI 石巻 Email : navi@ishinomaki2.com	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 13 : 宮城県栗原市くりはらし (人口: 70, 186人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東北新幹線: くりこま高原駅下車 (東京から約2時間)
高速バス: 東日本急行 高速バス「仙台、栗原市金成庁舎前線」くりこま高原駅下車
(仙台から約1時間20分)

(2) 事業実施の目的等

栗原市では、これまで約33名の学生の皆さんを受け入れており、参加された皆さんと一緒に地域の資源を探したり、体験・交流しながら、地域の人々の暮らしを体感する「くりはらツーリズム」のスタガを研究しています。

さらに、グリーン・ツーリズムを始め、ツーリズムに関心の高い市民が学生を受け入れることで、経験や知識を学べる機会とします。

(3) 体験の内容

季節に応じて、農業や林業などの作業や地域の暮らしの行事を体験します。また、地域資源を地元住民やスタッフと一緒に調査します。その他、季節に応じてメニューを設定します。

例: 農作業体験…田んぼ、畑、果樹園等で作業体験 林業体験…森林や竹林等での作業体験
地方の暮らし体験…地方に伝わる家庭の行事や地元食づくり体験 その他…資源調査等

(4) 受入主体

・くりはらツーリズムネットワーク
・花山はっけん塾 (民泊受入組織)

(5) 受入期間

① 8月上旬～9月中旬頃 3泊4日
※期間については相談に応じます。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 参加者 宿泊費: 受入主体 食事代: 受入主体・一部自己負担
①要件	・大学生、大学院生 (都市、地方は問いません) ・地方、田舎に関心のある人 ・インターン終了後も、栗原市を積極的にPRしていただける方
②応募締切り	・1カ月程度前 ※各回4～8人程度を予定
③宿泊施設	・民泊 ・宿泊施設
④食事形態	・受入先で提供 ※昼食は一部自己負担あり
⑤その他	・動きやすく、作業できる服装・シューズ (サンダル・ハイヒール不可) をご用意ください

(7) 地域担当者から一言

栗原市は、面積800平方キロメートルと宮城県内でもっとも広い面積を誇り、その約8割が森林、原野、田畑で占められていて、自然豊かな田園風景が広がる地域です。この広い栗原で、地方の暮らしや歴史・文化、農作業を体験しながら、市民との交流を楽しみましょう。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宮城県栗原市	担当部署 産業経済部田園観光課観光企画係
(ふりがな) にしむら あきら	TEL: 0228-22-1151 (直通)
担当者氏名 西村 晃	FAX: 0228-22-0315
E-mail: kanko@kuriharacity.jp	
URL: http://www.kuriharacity.jp/	
応募宛先 〒987-2293	宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号 (ふるさとセンター2階)

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 14 : 秋田県^{あきたし}秋田市 (人口: 314,597人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

秋田空港、秋田駅

(2) 事業実施の目的等

大学のゼミ等の活動として、市内農家等を訪れ農業体験を行う取組を誘致します。

(3) 体験の内容

- ・ 農業体験
- ・ 郷土料理の調理体験やバーベキュー
- ・ 川遊び、山散策
- ・ 農家との交流
- ・ 地域イベントへの参加
- ・ その他、参加者の希望により内容を検討

(4) 受入主体

主催は秋田市。
 体験の受入は市内農家。

(5) 受入期間

夏期休暇期間中

(6) 応募上の注意

※費用負担	自己負担は、①ご自宅から秋田駅または秋田空港までの交通費、②宿泊費、③食事代(ただし農家での食事代は市が負担します)、④傷害保険料
①要件	首都圏にある大学のゼミなどの団体(1回10名程度)
②応募締切り	参加者の希望日と受入農家の受入可能日のマッチングにより実施日を決定するため、締め切りはありません。 ただし、定員に達した場合は募集を締め切ります。
③宿泊施設	・ユフォーレ(秋田市河辺) ・ふるさと温泉ユアシス(秋田市雄和) ・プラザクリプトン(秋田市河辺) ・きこりの宿(秋田市太平) など市内宿泊施設
④食事形態	滞在中、一食は農家宅で提供。
⑤その他	・市内移動の手段は市が手配します(費用は市が負担します)。 ・受入農家と直接やりとりをしてもらい、体験内容など決めていただく場合があります。

(7) 地域担当者から一言

興味があれば、まずはお問い合わせを！詳細が決まり次第、随時情報を発信します。

(8) お問い合わせ先

自治体名 秋田市	担当部署 産業振興部産業企画課6次産業・産業連携担当
(ふりがな) 担当者氏名 松岡 さおり	TEL: 018-888-5725 (直通) FAX: 018-888-5723
E-mail: ro-agmn@city.akita.akita.jp	
http://www.city.akita.akita.jp/city/ag/mn/default.htm	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 15 : 秋田県^{あきたし}秋田市 (人口: 314,597人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

秋田空港、秋田駅

(2) 事業実施の目的等

首都圏在住者も対象とした農家民泊農業体験事業を実施し、農村生活の良さを伝えると共に、民泊農家を育成し、集落の活性化を図る。

(3) 体験の内容

- ・ 農業体験
- ・ 郷土料理の調理体験
- ・ 農家との交流
- ・ 地域イベントへの参加
- ・ その他、参加者の希望により内容を検討

(4) 受入主体

主催は秋田市。
体験・宿泊の受入は市内農家。

(5) 受入期間

6月～11月の希望する2日間(1泊2日)

(6) 応募上の注意

※費用負担	ご自宅から秋田駅または秋田空港までの交通費は自己負担です。ただし、1人上限1万円を市から補助します。交通手段は問いませんが、マイレージによる航空券取得など自己負担が発生しない場合は、補助対象となりません。また、前泊、延泊に必要な経費も対象外です。 宿泊費：自己負担なし 食事代：自己負担なし
①要件	2～4名。首都圏在住の学生グループ、または学生とその家族。
②応募締切り	参加者の希望日と受入農家の受入可能日のマッチングにより実施日を決定するため、締め切りはありません。 ただし、定員に達した場合は募集を締め切ります。
③宿泊施設	農家の自宅
④食事形態	1日目昼・夕、2日目朝・昼を提供
⑤その他	・受入農家と直接やりとりをしてもらい、体験内容など決めていただく場合があります。

(7) 地域担当者から一言

興味があれば、まずはお問い合わせを！詳細が決まり次第、随時情報を発信します。

(8) お問い合わせ先

自治体名 秋田市	担当部署 産業振興部産業企画課6次産業・産業連携担当
(ふりがな) 担当者氏名 松岡 きおり	TEL: 018-888-5725 (直通) FAX: 018-888-5723
E-mail: ro-agmn@city.akita.akita.jp	
http://www.city.akita.akita.jp/city/ag/mn/default.htm	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 16 : ^{かつのし} **秋田県鹿角市** (人口: 32, 129人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR花輪線 鹿角花輪駅下車 市役所前バス停

(2) 事業実施の目的等

移住者・新規就農者の獲得

(3) 体験の内容

市内農業関係機関見学、農業体験

(4) 受入主体

鹿角市農業農村支援機構

(5) 受入期間

平成29年9月下旬
3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：参加者負担 宿泊費：支援機構負担 食事代：支援機構負担
①要件	鹿角市への移住と就農を検討している県外の方
②応募締切り	未定
③宿泊施設	市内宿泊施設
④食事形態	宿泊施設において朝、夕を提供。昼食はお弁当を支給。
⑤その他	作業ができる服装（作業着、長靴）を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

農業に興味のある方、鹿角市でおためし移住・農業体験をしてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 鹿角市	担当部署 産業部 農林課 構造改革推進班
(ふりがな) さとう だいすけ 担当者氏名 佐藤 大介	TEL : 0186-30-0274 (直通) FAX : 0186-22-2810
E-mail : ninaite@city.kazuno.lg.jp	
URL : http://www.ink.or.jp/~shienkikou/	
応募宛先 〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字荒田4-1 (農業総合支援センター内) 鹿角市農業農村支援機構	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 17 : ^{うごまち}秋田県羽後町 (人口: 15, 321人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR秋田新幹線 大曲駅 (東京駅より約3時間) ⇒ JR奥羽本線 湯沢駅 (乗車約40分) ⇒ 公用車にて送迎 (約20分)

(2) 事業実施の目的等

①子ども時代から地域の「しごと」に魅力を感じていただく機会の創出となるイベント (羽後 Univ. しごとーい)、②「ゆき」に対して魅力を感じていただけるイベント (雪婚 (スノーマリアーヂュ)) を開催して、若い方々の参加により地域を元気にしたい。

(3) 体験の内容

①イベントスタッフとして子どもの職業体験等運営のサポートをしていただきます。
②イベントスタッフとして雪像・かまくら・キャンドルロードづくり、雪合戦等、運営サポートをしていただきます。

(4) 受入主体

羽後町 (羽後町人口減少対策プロジェクト)

(5) 受入期間

①平成30年1月 5日間
②平成30年2月 5日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 (上限3万円まで助成) 宿泊費: 自己負担 (1万円/日の滞在費助成あり) 食事代: 自己負担
①要件	町の元気創造に協力できる方
②応募締切り	11月下旬 (申込方法等について、後日、町ホームページ等で周知いたします。)
③宿泊施設	ログハウス、民間宿泊施設 ほか * 詳細については、ホームページ等で周知いたします。
④食事形態	* 詳細については、ホームページ等で周知いたします。
⑤その他	防寒対策の必要があります。(冬場の平均気温はマイナス0℃です。)

(7) 地域担当者から一言

今年度から始まる「ゆき・ひと・しごと交流イベント」。その成功のカギは「ひと」の交流です。羽後町民の心温まる人柄・一面真っ白な雪景色。“田舎のふるさと”を感じてみませんか?

(8) お問い合わせ先

自治体名	羽後町	担当部署	企画商工課 企画調整担当
(ふりがな)	さとう まさかず	TEL:	0183-62-2111 (内線 225)
担当者氏名	佐藤 正和	FAX:	0183-62-2120
E-mail:	kikaku@town.ugo.lg.jp		
URL:	http://www.town.ugo.lg.jp		
応募宛先	〒012-1131	秋田県雄勝郡羽後町西馬音内字中野177番地 羽後町役場企画商工課	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 18 : 福島県^{きたかたし}喜多方市 (人口: 48,600人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR磐越西線 喜多方駅から徒歩15分

(2) 事業実施の目的等

喜多方の自然、農作業、農泊を体験し、安全・安心や自然・農家の良さを感じて欲しい。そして、それを発信してほしい。

(3) 体験の内容

農業体験、農泊体験を通じて、喜多方の農家の生活を理解していただく。

(4) 受入主体

NPO法人
喜多方市グリーンツーリズムサポートセンター

(5) 受入期間

8月 1日(火)～ 8月31日(木)
8/10～8/16は除く 24日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
①要件	グリーンツーリズムに関心があり、健康な方。農作業をしっかり行える方。
②応募締切り	平成29年6月30日
③宿泊施設	農家民泊
④食事形態	農家民泊では朝・夕を提供(昼食は各自)
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

農作業の大変さ、楽しさを実感してください。

(8) お問合せ先

自治体名 福島県喜多方市	担当部署 産業部観光交流課グリーンツーリズム推進室
(ふりがな) しょうじ かずなり 担当者氏名 庄司 一也	TEL: 0241-24-5237 (直通) FAX: 0241-25-7073
E-mail: kankou@city.kitakata.fukushima.jp	
URL: http://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/kanko	
応募宛先 〒966-8601 福島県喜多方市字御清水東7244-2	産業部観光交流課グリーンツーリズム推進室

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 19 : 福島県^{きたかたし}喜多方市 (人口: 48,600人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR磐越西線 喜多方駅から徒歩15分

(2) 事業実施の目的等

都市住民が農業を手伝いながら、農村に滞在し、ありのままの農家生活を体験することで、心身のリフレッシュや農業技術の習得を行う。また、本市で田舎暮らしを体験することで、移住・定住への機会を創出する。

(3) 体験の内容

季節や希望により決定

(例) 農業体験 (田植え・稲刈り・野菜収穫等)、農家民泊体験など

(4) 受入主体

喜多方市

(5) 受入期間

原則として2泊3日以上1週間以内

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 食事代: 無料
①要件	市外在住の方
②応募締切り	随時受付。詳細はホームページをご覧ください。
③宿泊施設	農家民泊
④食事形態	受入農家から提供
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

蔵とラーメンのまち喜多方で、ありのままの農家生活を体験し、本物の田舎を満喫してみませんか？

(8) お問合せ先

自治体名 福島県喜多方市	担当部署 産業部農山村振興課地域振興対策室
(ふりがな) たなか ゆうた 担当者氏名 田中 優多	TEL: 0241-24-5234 (直通) FAX: 0241-25-7073
E-mail: nousan@city.kitakata.fukushima.jp	
URL: http://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/nousanson/	
応募宛先 〒966-8601 福島県喜多方市字御清水東7244-2	産業部農山村振興課地域振興対策室

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 20 : 福島県喜多^{きたかたし}方市 (人口: 48,600人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR磐越西線 喜多方駅から徒歩15分

(2) 事業実施の目的等

- ・地域に来てほしい
- ・地域を見てほしい
- ・地域に触れてほしい

(3) 体験の内容

- ・夏季コース キュウリ・トマト等の収穫・管理作業
- ・秋季コース コシヒカリやソバ等の収穫・管理作業
- ・冬季コース 農産加工や雪国体験

(4) 受入主体

喜多方市

(5) 受入期間

- ・夏季コース 7月下旬 3日間
- ・秋季コース 9月下旬 3日間
- ・冬季コース 1月下旬 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：無料 宿泊費：無料 食事代：一部自己負担
①要件	市外在住で本市への就農や定住を考えている方
②応募締切り	各コースともホームページよりお申込みください。
③宿泊施設	農家民泊
④食事形態	農家民泊では朝・夕を提供(昼食は自己負担) 2日目の夕は交流会開催予定
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

ラーメンの香る喜多方で、農泊しながら農業研修・生活体験してみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名 福島県喜多方市	担当部署 産業部農業振興課経営企画係(グループ)
(ふりがな) えんどう けんじ 担当者氏名 遠藤 健治	TEL: 0241-24-5277 (直通) FAX: 0241-25-7073
E-mail: noushin@city.kitakata.fukushima.jp	
URL: http://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/noushin/	
応募宛先 〒966-8601 福島県喜多方市字御清水東7244-2	産業部農業振興課経営企画係

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 21 : ^{みなみそうまし} 福島県南相馬市 (人口: 56,694人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR常磐線 原ノ町駅下車 徒歩5分 (みなみそうま復興大学シェアオフィス)

(2) 事業実施の目的等

地域に思いのある住民・企業・団体等の地域の主体と大学等外部の復興支援に思いのある人たちが、お互いの活動を知りあうことにより、地域における具体的な活動を共有し、まちづくり・ひとづくりを通じた「地域力」の向上を目指すもの。

(3) 体験の内容

- ①大学主体での地元での活動 ゼミ合宿・実習、インターンシップ等、復興まち・ひとづくり調査・研究
- ②大学と市民活動との協働 市民講座等の開催、交流イベント等の開催

(4) 受入主体

南相馬市

(5) 受入期間

年末年始(12月29日～1月3日)を除き、いつでも利用可能

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：自己負担
①要件	市内において調査や研究等を行う大学の学生及び指導者等
②応募締切り	利用開始予定日の2週間前までに電話で仮予約後、利用申込書をEメール又はFAXで提出
③宿泊施設	みなみそうま復興大学シェアハウス
④食事形態	自炊
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

東日本大震災の被災地である南相馬市へお越しになり、被災者の経験談をきいたり、復旧・復興の現状について調査し、今後起こりうる災害への対策に役立てていただければ幸いです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 南相馬市	担当部署 復興企画部企画課帰還移住促進係(グループ)
(ふりがな) 担当者氏名 安部 幹洋	TEL: 0244-24-5223 (直通) FAX: 0244-23-2511
E-mail: kikaku@city.minamisoma.lg.jp	
URL: http://www.city.minamisoma.lg.jp	
応募宛先 〒975-8686 福島県南相馬市原町区本町二丁目27番地	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

かわまたまち
No.- 22 : 福島県川俣町 (人口: 13,632人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・ JR 福島駅から JR バス川俣高校前行きで約 45 分
- ・ 東北自動車道福島西 I.C から自動車で国道 114 号経由で約 40 分

(2) 事業実施の目的等

- ・ 地域づくり、まちづくりに関心のある都市の若者との交流を通して、都市資源（人、産業、文化等）と地域資源（人、産業、文化等）を活用した、新しい地域づくり活動や仕事創出のきっかけづくりを図る。
- ・ 農作業体験等により、農業・農村生活に対する理解を深め、感じたことを自分の言葉で伝えられる若者を育む。

(3) 体験の内容

- ・ 仕事としての花き、野菜等の農作業体験や、養鶏等の飼育作業体験。
- ・ 地域伝統行事（盆踊り）参加や公民館事業等による、地域住民との交流。
- ・ からりこフェスタ、川俣シャモまつり等のイベントに参加し大いに楽しむ！
- ・ 活動報告会。

(4) 受入主体

川俣町（小島地区）

(5) 受入期間

8月上旬～8月下旬 30日間程度（応相談）

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担（東京から新幹線とバスで片道約10,000円） 宿泊費：無料 食事代：自己負担（約10,000円～15,000円）
①要件	地域づくりや農業・農村生活体験に好奇心旺盛な大学生、大学院生
②応募締切り	平成29年6月16日（金）必着 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、募集宛先まで郵送してください。 なお、申込み前に必ず担当者へ御連絡ください。
③宿泊施設	自然体験交流施設「おじまふるさと交流館」（町有施設）
④食事形態	自炊（野菜や果物を頂く事もあります）
⑤その他	活動先によっては、民泊や食事の提供もある。

(7) 地域担当者から一言

皆さんが30日間という時間を費やす価値が川俣町にはあります。何を見て、何を聞き、何に驚き、喜び、何をしたのか。何を感じ、考えたのか……。あなたの言葉で伝えてほしい。

(8) お問い合わせ先

自治体名 福島県川俣町	担当部署 産業課 商工交流係
(ふりがな) すずき りょう 担当者氏名 鈴木 亮	TEL : 024-566-2111 (内線 : 1505・1552) FAX : 024-566-2438
E-mail : sangyo@town.kawamata.lg.jp	
URL : http://www.town.kawamata.lg.jp/ (川俣町公式 HP)	
応募宛先 〒960-1492 福島県伊達郡川俣町字五百田 30 番地	川俣町役場産業課 商工交流係宛

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 23 : いなわしろまち 福島県猪苗代町 (人口: 約15,000人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

電車: JR東北新幹線・JR磐越西線猪苗代駅下車 (東京駅から約2時間20分)
高速バス: 新宿駅～猪苗代駅 (約4時間10分)
車: 磐越自動車道 猪苗代磐梯高原IC (浦和ICから約2時間30分)

(2) 事業実施の目的等

若者に地方体験や地元の方々と交流をしていただき地方の楽しさ、魅力を知っていただくことで、地域活性化及び交流人口の拡大とUIJターンの促進を図る。

(3) 体験の内容

スポーツ体験 (スキー、スノーボード、スノーシュー、パラグライダー、カヌー、ナイトウォーク、ウォータージャンプ、シャワーウォークなど)
農業体験 (じゃがいも堀り、田植え、稲刈り、野菜の植え付け、収穫、花の植え付け、アスパラガス収穫、ブルーベリー摘み取りなど)
自然体験 (杉おこし間伐林業、トレッキング、ひし刈、釣り堀、ドラム缶風呂、魚つかみ、湖畔の森ハイキング、川遊び、磐梯山登山、紅葉狩り、天体観測など)
工作体験 (陶芸教室、民芸品工作、リース作り、箸作り、赤べこの絵付け、竹とんぼ作り、森の工作など)
食体験 (そば打ち、もちつき、野外炊飯、バター作り、アイスクリーム作り、ピザ作り、バーベキュー、ブルーベリージャム作り、ひし巻き作りなど)
歴史体験 (野口英世博士に関する講座、巨石巡り、町内史跡巡り、天鏡閣周辺探索、沼尻鉱山探索など)

(4) 受入主体

いなわしろ体験学習推進協議会

(5) 受入期間

通年

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費、宿泊費、食事代: 自己負担
①要件	地方体験や交流に興味がある人
②応募締切り	体験の1ヶ月前ぐらいまで
③宿泊施設	民宿
④食事形態	民宿にて、朝・夕を提供 (昼食は要相談)
⑤その他	体験にあった動きやすい服装でお越しください。

(7) 地域担当者から一言

猪苗代町は、会津磐梯山、安達太良山など日本百名山の山々と猪苗代湖に囲まれた自然景観に恵まれたリゾート地です。磐梯山では登山、スキー、スノーボードなど、猪苗代湖ではキャンプやウォータースポーツ、湖水浴ができます。さらに町内には17エリアの温泉施設があり四季を通して楽しめます。東京からは、新幹線を利用すれば約2時間20分で来ることができます。様々な楽しい体験メニューがございますので、風光明媚な猪苗代町に是非お越しください。

(8) お問い合わせ先

自治体名	福島県猪苗代町	担当部署	商工観光課 商工観光係
(ふりがな)	ふくち きよたか	TEL: 0242-62-2117 (直通)	
担当者氏名	福地 喜代貴	FAX: 0242-62-5175	
E-mail	syoukan@town.inawashiro.fukushima.jp		
URL	http://www.town.inawashiro.fukushima.jp/ (猪苗代町) http://www.bandaisan.or.jp/kyouiku/ (いなわしろ体験学習推進協議会)		
応募宛先	〒969-3123 福島県耶麻郡猪苗代町字城南 100 番地		

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 24 : ^{あいづみさとまち} 福島県会津美里町 (人口: 21,160人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR只見線 会津高田駅からデマンドタクシー (相乗り型の定額料金タクシー) にて20分ほど

(2) 事業実施の目的等

一度会津美里町に来ていただき素敵な自然に触れていただきたいと思います。季節に応じた各種体験を準備していますのでぜひご相談ください。

(3) 体験の内容

古民家宿泊体験 (囲炉裏のある古民家で郷土料理を楽しむことができます)、魚つかみ体験やパターゴルフ、バーベキュー体験、そば打ち体験、星空観察会など

(4) 受入主体

天宝山荘で田舎を体験してみませんか実行委員会 : 代表 長嶺東夫

(5) 受入期間

随時

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自費になります。 宿泊費: 素泊まり1泊3000円 食事代: 相談に応じて提供します (有料)
① 要件	原則福島県外から会津美里町の自然に触れ合いたい20歳以上の大学生
② 応募締切り	随時受け付けています。
③ 宿泊施設	天宝山荘 (会津美里町東尾岐字田中 5475)
④ 食事形態	食事提供可能
⑤ その他	紹介記事 https://inaka.arukikata.com/fukushima/aizumisato/blog/fukushima_aizumisato_01/2016/09/post-22.html

(7) 地域担当者から一言

福島県会津美里町高田地域の山奥にひっそり佇む古民家「天宝山荘」。手入れの行き届いた里山で田舎暮らしを体験しませんか。スタッフが各種イベントのお手伝いをいたします。一度会津美里町に来て楽しんでいただくために町としても最大限協力していきます!まずはお問い合わせください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 会津美里町	担当部署 まちづくり政策課 定住促進係
(ふりがな) せきもと とおる 担当者氏名 関本 達	TEL: 0242-55-1171 (直通) FAX: 0242-55-1199
E-mail: sekimoto_toru@town.aizumisato.fukushima.jp	
URL: http://www.aizu-i.jp/	
応募宛先 〒969-6292 福島県大沼郡会津美里町字宮北 3163 まちづくり政策課内「若者の地方体験交流」係	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 25 : 茨城県潮来市^{いたこし} (人口: 29,111人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東京駅八重洲南口1番停留所から発車する高速バス利用→水郷潮来停留所まで約70分
JR潮来駅から徒歩15分
高速バス水郷潮来停留所からタクシー・車で5分

(2) 事業実施の目的等

首都圏にはない自然の魅力を発信し、若者に地域の独自性のある体験をしていただくことで魅力ある水郷潮来への移住・地方からの通学・通勤の促進を図る事業とする。また、地域の人々と交流してもらうことで、若者ならではの情報発信の拡大に期待する。

(3) 体験の内容

- 1) 手焼きせんべい体験
- 2) 長勝寺・座禅体験
- 3) 手こぎ舟 前川ろ舟体験
- 4) 花嫁道場 (華道・着付け・茶道)
- 5) 農業 (野菜の植え付け・収穫等) 体験 (地元農業者との交流)

(4) 受入主体

潮来市

(5) 受入期間

夏期 7月下旬 2日間
秋季 9月下旬 2日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	潮来市暮らしを体験し、地元の魅力再発見を行いながら情報発信を行う。
②応募締切り	夏期 5月末まで 秋季 7月末まで * 担当者宛にFAX又はメールにてご連絡ください。メール送信時のタイトルは「若者の地方体験交流応募」をお願いします。
③宿泊施設	募集開始時に詳細をお知らせします。
④食事形態	原則、自己負担 住民との交流を通じて、食事に招待いただけることもあるかもしれません。
⑤その他	元気に体験を楽しめる方。地域おこし協力隊に関心のある方。

(7) 地域担当者から一言

潮来市は、北利根川、霞ヶ浦、北浦といった湖沼や河川に囲まれた水郷地帯のまち。自然豊であり空気が澄んでいるまちでもあります。水郷情緒あふれる潮来市に是非お越し下さい。

(8) お問い合わせ先

自治体名 潮来市	担当部署 総務部秘書政策課
(ふりがな) いしだ ゆうこ 担当者氏名 石田 有子	TEL: 0299-63-1111 (内線 212) FAX: 0299-80-1100
E-mail: info@city.itako.lg.jp	
URL: http://www.city.itako.lg.jp/	
応募宛先 〒311-2493 茨城県潮来市辻 626 番地 潮来市役所総務部秘書政策課 移住・定住担当	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 26 : 千葉県ちょうしし銚子市 (人口: 64, 224人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR総武本線・成田線 銚子駅下車
千葉交通 高速バス 銚子駅前下車

(2) 事業実施の目的等

- ・「移住定住の推進」という視点で、よそ者・若者の意見を聞きたい。
- ・市が設置する移住体験施設「お試し住宅」に居住していただき、施設の改善点やPR方法について意見をいただきたい。

(3) 体験の内容

- ・市役所の仕事の体験 (移住定住関係)
- ・地域イベントへの参加及び交流

(4) 受入主体

銚子市

(5) 受入期間

受入時期: 7月～9月
受入期間: 1週間程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 食事代: 自己負担
①要件	地方での暮らしに興味があり、積極的にコミュニケーションが取れる方
②応募締切り	随時募集
③宿泊施設	銚子市お試し住宅 (http://www.city.choshi.chiba.jp/sisei/teiju/otameshi.html)
④食事形態	自炊
⑤その他	銚子市インターンシップ事業として対応します。 詳しくは下記問合せ先までお気軽にご相談ください。

(7) 地域担当者から一言

体験していただく皆さまが楽しく、充実した時間を過ごせるようにサポートしてまいります。
色々な体験や出会いを通じて、銚子の魅力を感じ、素直な意見を聞かせてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 銚子市	担当部署 政策企画部企画課
(ふりがな) たかね けんいち 担当者氏名 高根 謙一	TEL: 0479-24-8912 (直通) FAX: 0479-25-4044
E-mail: iju-info@city.choshi.lg.jp	
URL: http://www.city.choshi.chiba.jp/index.html	
応募宛先 〒288-8601 千葉県銚子市若宮町 1-1	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 27 : ^{ながおかし}新潟県長岡市 (人口: 274,977人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東京駅⇒(上越新幹線)⇒長岡駅 約1時間30分

(2) 事業実施の目的等

・学生や社会人を対象に短期就農体験の受入を行い、新規就農のきっかけづくりを支援するもの

(3) 体験の内容

- ・農作業体験 (田植え、野菜苗植え、稲刈り等収穫作業)
- ・養鯉業体験 (野池や施設の清掃、展示・販売補助作業等)
- ・畜産業体験 (牛のエサやり、牛舎清掃等)

※申込時に希望する体験メニューをお聞かせください。

(4) 受入主体

長岡市内の認定農業者等

(5) 受入期間

通年
※4泊5日を基本に柔軟に対応します。

(6) 応募上の注意

※費用負担	・交通費: 東京駅～長岡駅の新幹線代は、市が負担。 ・宿泊費: 参加者の負担なし(受入先が用意します。) ・食事代: 参加者の負担なし(受入先が用意します。) ・傷害保険料: 参加者負担500円
①要件	・農業に興味・関心があり、将来、地方に移住し、就農を検討している方。
②応募締切り	・体験希望開始日の2週間以上前までを目途にお申込みください。
③宿泊施設	・受入農家、または民宿など。
④食事形態	・受入農家、または民宿など。
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

・長岡市は、新潟県のほぼ中央、県下第2の都市です。信濃川を挟んでの平野部・丘陵部、日本海に面する海岸地域、豪雪地域である中山間地と多様な自然があります。
・主な作目は【水稲】ですが、個性豊かな全16種類の【長岡野菜】、世界に誇る地域の宝【錦鯉】や、にいがた和牛の【畜産】と様々な魅力があります。
・興味がある方は、まずは短期就農体験に参加して、長岡の良さを感じてみてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 長岡市	担当部署 農林水産部 農水産政策課 担い手育成係
(ふりがな) さかた すすむ 担当者氏名 坂田 晋	TEL: 0258-39-2223 (直通) FAX: 0258-39-2284
E-mail: nousei@city.nagaoka.lg.jp	
URL: http://www.city.nagaoka.niigata.jp/sangyou/cate04/tanki-syunou.html	
応募宛先 〒940-0062 新潟県長岡市大手通2-2-6 ながおか市民センター5階	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 28 : ^{しばたし}新潟県新発田市 (人口: 99,613人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR	東京駅⇒(上越新幹線)⇒新潟駅⇒(白新線)⇒新発田駅	最短 127分
自家用車	練馬IC⇒関越自動車道・日本海東北自動車道⇒聖籠・新発田IC	326.8K 221分

(2) 事業実施の目的等

<p>【新発田市移住体験ツアー】 参加者には、地元の人たちとの交流を通じ、地域をじっくり見て、じっくり聞いて、地域で生きることをイメージしてもらいたい。</p>
--

(3) 体験の内容

<p>各回ともテーマを設けて農作業体験・そば打ち・和菓子作りなどのほか、冬の時期にはかんじき造りなどを実施しています。また、地域の人たちと一緒に散策をしたり、郷土料理を食べたり、地域の空き家を改装した施設で宿泊してもらったりと新発田の魅力を満喫できるものとなっております。</p>
--

(4) 受入主体

新発田市 / (一社) 新発田市観光協会

(5) 受入期間

平成29年度は1泊2日の移住体験ツアーを数回予定。(開催時期については市HP等でお知らせします。)

(6) 応募上の注意

※費用負担	各回参加費 5,000 円 (集合場所までの交通費は自己負担となります。)
①要件	地域への移住に興味がある方ならだれでも OK
②応募締切り	各回開催日の1週間ほど前
③宿泊施設	短期滞在施設「新縁」(新発田市米倉地域)
④食事形態	受入地域で提供
⑤その他	・防寒着、長靴、寝間着、着替え、タオル、歯ブラシ等の洗面用具、保険証などを準備してください。(各回で別途連絡します。)

(7) 地域担当者から一言

<p>～田舎で自分らしく生きるライフスタイルを覗いてみよう～ 当ツアーはしばたで暮らす『人』『自然』『農作業』など、田舎のライフスタイルを覗く移住体験ツアーです。 城下町の風情を残しながら、広がる田園風景、豊かな自然と熱い人との交流です。興味のある方はまずお気軽にお問い合わせください。</p>

(8) お問い合わせ先

自治体名	新発田市	担当部署	みらい創造課 定住促進室 定住促進係
(ふりがな)	ほその ますい	TEL :	0254-28-9531 (直通)
担当者氏名	細野・増井	FAX :	0254-22-3110
E-mail : teijyu@city.shibata.lg.jp			
URL : https://www.city.shibata.niigata.jp/info.rbz?nd=1967&ik=1			
応募宛先	〒957-8686	新発田市中央町 3-3-3	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 29 : ^{おぢやし}新潟県小千谷市 (人口: 36,642人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR	東京駅⇒(上越新幹線)⇒越後湯沢駅⇒(上越線・飯山線)⇒越後岩沢駅	約2時間30分
		越後岩沢駅より徒歩約2分
自家用車	練馬 IC⇒関越自動車道⇒越後川口 IC	約2時間30分
		越後川口 IC より約10分

(2) 事業実施の目的等

- ・地域住民との交流や意見交換を通して地域資源の発掘や情報発信をしていただきたい。
- ・活動を通して小千谷市の魅力を発見し、地域活性化の支援をしていただきたい。

(3) 体験の内容

○地域活性化に関わる活動全般
・農作業 ・草刈 ・地域の方との交流 ・農家民宿運営体験
・地域イベント行事への参加、協力
・アイデア提供など …参加者の方のやりたいことと相談して対応

(4) 受入主体

(5) 受入期間

岩沢アチコタネーゼ	8月 (期間内2～3週間程度)
-----------	--------------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：自己負担
①要件	地域づくりに興味ある方
②応募締切り	6月末まで
③宿泊施設	岩沢アチコタネーゼ事務所 2F和室
④食事形態	自炊(お米や野菜の提供があります)
⑤その他	作業に適した服装 ※参加にあたっての詳細やご相談など、お気軽にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

小千谷市岩沢(いわさわ)地域は、過疎や高齢化、耕作放棄地など様々な問題を抱える中、ふるさと活性化の為に「農家レストランの経営」や「棚田農業体験イベント」「農作物の栽培・直売」「収穫祭」「除雪支援事業」など地域の有志の力をあわせ、活動を行っています。インターン事業については、これまでに4回の受入れを行ってきました。

毎年、様々な課題と一緒に楽しんで悩んで取り組んでくださり、地域に新しい風をおこし、笑顔と元気をくれました。こうした交流は、お互いの糧になり、次へ繋がっていきます。

そして取り組むべき課題は、まだまだあります。

岩沢地域の取組に力を貸して下さる方、興味をお持ちの方、お待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名	小千谷市	担当部署	観光交流課 地域振興係
(ふりがな)	やまむら あやの	TEL :	0258 (83) 3512
担当者氏名	山村 綾乃	FAX :	0258 (83) 0871
E-mail :	chiiki@city.ojiya.niigata.jp		
URL :	http://www.city.ojiya.niigata.jp/		
応募宛先	〒947-0028 新潟県小千谷市城内1-13-20		

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 30 : ^{とおかまちし}新潟県十日町市 (人口: 55, 182人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

電車 東京駅⇒(上越新幹線)⇒越後湯沢駅⇒(ほくほく線)十日町駅 東京から約2時間

(2) 事業実施の目的等

- 多くの若者から農作業等の就業体験、地方での田舎暮らしを通して、自然と共生する暮らしの在り方を学んでいただくとともに、逞しく生きる地域社会の魅力を発信していただきたい。
- 里山での暮らしの魅力に触れ、当市を選んで住み継ぎ、地域社会の新たな担い手として活躍いただきたい。

(3) 体験の内容

- 「地域づくり」×「農業」、「古民家再生」、「古民家カフェ運営補助」、「移動販売補助」など。
- 中山間地域の集落存続、機能維持の活動をサポートする地域復興支援員や地域おこし協力隊と協働して、「地域おこし」・「まちづくり」における外部人材の役割、農業やコミュニティビジネスの仕組等について地域住民とともに学びながら体験する。

(4) 受入主体

NPO法人十日町市地域おこし実行委員会
(中条飛渡地区)

(5) 受入期間

7月上旬 ~ 3月下旬
約250日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：参加者自己負担（東京から約12,000円） 宿泊費：自己負担なし（但し、冬期間は暖房費が必要になる場合があります） 食事代：自己負担あり（原則、自炊）
①要件	<ul style="list-style-type: none">チャレンジ精神のある方地域おこし、まちづくりに興味のある方田舎暮らしを希望している方地域おこし協力隊への応募を検討している方
②応募締切り	未定 <ul style="list-style-type: none">指定の申込書に必要事項を記入の上、担当者まで郵送（FAX、メール）にてご連絡ください。受入定員に達し次第、募集を打ち切る場合があります。
③宿泊施設	廃校となった分校での共同生活、地域集会施設、移住者用住宅及びレンタルハウス
④食事形態	原則として自炊 (地域住民との交流の中で食事に招待をいただく場合があります)
⑤その他	<ul style="list-style-type: none">地方への移住の多様な窓口の一つとして、新潟県が実施するインターンシップ事業を活用して研修生の受入を行っています。屋外での作業があることから、汚れてもいい服装をご準備ください。(その他、備品や消耗品は受入先でご用意します)

(7) 地域担当者から一言

「地方創生」が叫ばれる中、「地方」の最前線である「田舎」で、地域住民から生きる術と暮らしの魅力を学び、働くことの意義や心地よい人との繋がりを見つけてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 新潟県 十日町市	担当部署 総務部 企画政策課 移住定住推進係
(ふりがな) ふじた かつし 担当者氏名 藤田 克志	TEL : 025-755-5137 (直通) FAX : 025-752-4635
E-mail : t-kikaku@city.tokamachi.lg.jp	
URL : http://www.city.tokamachi.lg.jp/	
応募宛先 〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 31 : 新潟県燕市^{つばめし} (人口: 81, 167人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東京駅⇒(上越新幹線)⇒燕三条駅 約1時間50分

(2) 事業実施の目的等

学生を対象に市内企業の魅力発信や就職先として「燕市で働く」を具体的にイメージしていたくために「ものづくりのまち燕市」を体感できるインターンシップを行っております。このインターンシップについては、県外出身の方についても燕市に興味があったり、なんとなく地方での就職を考えているIターンやJターン希望の方、燕市のものでづくりの技術の高さを体感したいという学生など、どなたでも参加できます。

(3) 体験の内容

インターンシップ

- 事前オリエンテーション・グループワーク
- 燕市のものでづくりについて学ぶ
- 市内企業の職場見学と企業説明
(伝統産業から国内シェア95%を誇る洋食器産業を支える技術や販売戦略、様々な分野における国内シェアトップの製品や技術を体感できる職場見学 等)
- 燕市のものでづくりを体験
企業とのマッチングを行い、1日～数日間実際に現場で働く

(4) 受入主体

東京つばめいと事務局
(燕市役所地域振興課交流推進係)

(5) 受入期間

○短期滞在型 (1泊2日)
○長期滞在型 (5泊6日)
開催時期はWebサイト等でお知らせします。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 復路のみ自己負担 宿泊費: 県外出身者については宿泊費を負担 食事代: 未定
①要件	学生・社会人
②応募締切り	詳細は事務局へお問い合わせください
③宿泊施設	市内宿泊施設等
④食事形態	短期滞在型 - 1日目夕食時懇親会実施予定 長期滞在型 - 期間中に1度夕食時懇親会を実施予定
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

燕市はものづくりのまち。様々なメディアで取り上げていただいている“もの”やいつも知らずに使っている“もの”の中に燕市産があふれています。そんな“もの”がつくれるには様々な工程があり、本当に多くの方が手をかけつづられています。そんな現場に実際に入って、目で見、実際に触れて、体験できるインターンシップを開催する予定です。

ものづくりには興味があるけれど、仕事があるのかと不安を抱えている学生や社会人に向けて、どのような仕事があるか、また市内企業がどのように世界や国内で活躍しているかなどの企業の魅力を体感できるプログラムを考えていますので、ぜひ興味のある方はご参加ください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 新潟県燕市	担当部署 企画財政部 地域振興課 交流推進係
(ふりがな) さの だいすけ 担当者氏名 佐野 大輔	TEL: 0256-77-8364 (直通) FAX: 0256-92-2112
E-mail: chiiki@city.tsubame.niigata.jp	
URL: http://www.city.tsubame.niigata.jp/	
応募宛先 〒959-0295 新潟県燕市吉田西太田1934番地 燕市役所地域振興課 交流推進係	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 32 : 新潟県^{みょうこうし}妙高市 (人口: 33,536人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

電車 東京駅⇒(北陸新幹線)⇒上越妙高駅⇒(えちごトキメキ鉄道妙高はねうまライン)⇒新井駅
約2時間

(2) 事業実施の目的等

- ・妙高市の魅力を知ってもらいたい。
- ・若い人から妙高市を体験してもらい、移住・定住に結び付けたい。

(3) 体験の内容

空き家見学をメインとし、スーパーや病院等を巡る必須見学ルートと、ツアー参加者の意向に応じて自由に選択できる体験メニューを組み合わせ、オーダーメイドのツアーを提供

(4) 受入主体

妙高市

(5) 受入期間

通年

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：市負担 食事代：自己負担(宿泊に伴う食事代は市が負担)
①要件	新潟県外在住者
②応募締切り	通年募集
③宿泊施設	市内公共宿泊施設(友楽里館、大滝荘) 農業体験付き民宿(矢代、杉野沢地区)
④食事形態	朝・夕提供
⑤その他	申込み前に必ずお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

オーダーメイドツアーで妙高の良さを体感しませんか。たくさんのお問合せお待ちしております！

(8) お問い合わせ先

自治体名 妙高市	担当部署 建設課 移住・定住相談窓口
(ふりがな) このうら しょうこ 担当者氏名 木浦 笙子	TEL: 0255-74-0026 (直通) FAX: 0255-73-8206
E-mail: kensetsu@city.myoko.niigata.jp	
URL: http://www.city.myoko.niigata.jp/	
応募宛先 〒944-8686 新潟県妙高市栄町5番1号	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 33 : 新潟県上越市^{じょうえつし} (人口: 196,959人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東京駅⇒(北陸新幹線)⇒上越妙高駅 約1時間50分

(2) 事業実施の目的等

上越市では、高等学校を卒業し、市外に進学した学生・生徒等が地元の企業に就職しやすい環境を整えるとともに、学生等の就職意識の啓発と市内定着を図るため、市内のインターンシップ受入企業の情報をホームページ「上越市インターンシップ」とFacebook を開設して発信し、インターンシップを推進しています。

(3) 体験の内容

上越市内の事業所でのインターンシップ

(4) 受入主体

上越市内の74事業所(平成29年1月現在)
ホームページ「上越市インターンシップ」掲載

(5) 受入期間

ホームページ「上越市インターンシップ」に
各事業所別に掲載

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担を基本とします 宿泊費：自己負担を基本とします 食事代：自己負担を基本とします ※詳しくは、インターンシップ受入事業所に確認ください。
①要件	大学生等で上越市内の事業所でインターンシップを体験したい人
②応募締切り	ホームページ「上越市インターンシップ」に各受入事業所別に掲載
③宿泊施設	インターンシップ受入事業所に確認ください
④食事形態	インターンシップ受入事業所に確認ください
⑤その他	ホームページ「上越市インターンシップ」に各受入事業所別に掲載

(7) 地域担当者から一言

インターンシップを考えているあなたへ。未来の自分を発見！ 上越市であなたの夢の続きを

ホームページアドレス
<http://www.j-internship.jp/>



Facebook アドレス
<https://www.facebook.com/joetsu.internship>



(8) お問い合わせ先

自治体名 上越市	担当部署 産業観光部 産業振興課 金融・労働係
(ふりがな) (たかはし としひろ) 担当者氏名 高橋 利宏	TEL : 025-526-5111 (内線) 1755 FAX : 025-526-6113
E-mail : sangyou@city.jeouetsu.lg.jp	
URL : http://www.j-internship.jp/	
応募宛先 〒 _____	
(1) インターンシップ受入事業所へ直接申込み (2) インターンシップホームページから申込み	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 34 : 新潟県^{じょうえつし}上越市 (人口: 196,959人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東京駅⇒(北陸新幹線)⇒上越妙高駅 約1時間50分

(2) 事業実施の目的等

上越市では、新規就農者を確保・育成するとともに地域と農業の活性化を図るため、市外から転入し新たに就農する人や就農に向けた研修を受ける人を支援します。

(3) 体験の内容

上越市内の受入農家・集落でのおためし農業体験 (2泊3日で実施)

(4) 受入主体

受入可能農家・集落 16(平成29年2月13日現在)

(5) 受入期間

体験する作業により随時

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担を基本とします。ただし、レンタカーを使用した場合は、レンタカーの使用料(上限16,000円)を支援。 宿泊費: 市内の宿泊施設を利用した場合に宿泊費の1/2(1泊上限5,000円)を支援 食事代: 自己負担を基本とします。
①要件	市外に居住している満50歳未満の人
②応募締切り	随時
③宿泊施設	市内の宿泊施設を利用(参加者で予約をお願いします。)
④食事形態	おためし農業体験実施中(2、3日目)の昼食は体験先で提供します。
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

～本気で農業を始めたいあなたを全面サポート～

上越市担い手育成総合支援協議会が中心となり、JA、県等の関係機関が連携して、研修から経営が軌道に乗るまでを一貫してサポートします。まずはおためし農業体験で上越市に来てみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 上越市	担当部署 農林水産部 農政課 担い手育成係
(ふりがな) (うちだ としき) 担当者氏名 内田 知貴	TEL: 025-526-5111 (内線) 1287 FAX: 025-526-6114
E-mail: nousei@city.joetsu.lg.jp	
URL: http://www.city.joetsu.niigata.jp/	
応募宛先 〒943-8601 新潟県上越市木田1丁目1番3号	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 35 : 新潟県^{さどし}佐渡市 (人口: 57,357人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR	東京駅 → 新潟駅 (上越新幹線 約2時間 (最速で約1時間40分))
路線バス	新潟駅 → 佐渡汽船下車 (乗車時間約15分)
佐渡汽船	新潟港～両津港 カーフエリー (約2時間30分) 高速船 (約1時間)

(2) 事業実施の目的等

廃校を活用した研修・合宿施設「深浦学舎」を拠点とした短期地域インターンプログラム
佐渡島を拠点に国内外で活動する太鼓芸能集団「鼓童」。その本拠地がある佐渡・小木に廃校を活用した研修・合宿施設「深浦学舎」を滞在拠点とし、佐渡での仕事や暮らし、生活を体感いただく「地域インターンプログラム」。佐渡島に住んでみたい、佐渡島で地域づくりに関わっていききたいなどを検討される方にお勧めのプログラムです。

(3) 体験の内容

- ・小木半島で若者の手を借りたいような農漁業(田、柿、種苗、漁など)、地域を活性化していく観光地域づくりの取組(国の重要伝統的建造物群保存地区「宿根木」)などの「地域のしごと」を手伝いながら、地域での暮らし方や祭り、生活技術などを体験できます。
- ・また島の人や移住の先輩者などとの交流など、希望に応じてプログラムを作ります。

(4) 受入主体

公益財団法人鼓童文化財団

(5) 受入期間

通年

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までおよび現地での交通費: 自己負担 宿泊費(食事・食材費(2食分)含む): 14,000円(2泊3日)～ ※1週間プログラムもあり ※滞在プログラムにより費用別途お見積
①要件	佐渡島での生活を検討してみたい、検討している方
②応募締切り	募集開始時に詳細を公表します。
③宿泊施設	募集開始時に詳細を公表します。
④食事形態	募集開始時に詳細を公表します。
⑤その他	滞在中は自炊いただく場合もあります。

(7) 地域担当者から一言

鼓童文化財団では地域に根差した佐渡の地域づくりに取り組んでいます。佐渡島は若い皆さんの力を必要としています。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

(8) お問い合わせ先

自治体名 佐渡市	担当部署 地域振興課 移住定住促進係
(ふりがな) もりた ひろふみ 担当者氏名 森田 洋史	TEL: 0259-63-4152 (直通) FAX: 0259-63-5125
E-mail: k-kikaku@city.sado.niigata.jp	
URL: https://www.city.sado.niigata.jp/	
応募宛先 〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田150-3 公益財団法人 鼓童文化財団 佐渡太鼓体験交流館 電話: 0259-86-2320	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 36 : 新潟県^{さどし}佐渡市 (人口: 57,357人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR	東京駅 → 新潟駅	(上越新幹線 約2時間 (最速で約1時間40分))
路線バス	新潟駅 → 佐渡汽船下車	(乗車時間約15分)
佐渡汽船	新潟港～両津港	カーフェリー (約2時間30分) 高速船 (約1時間)

(2) 事業実施の目的等

「シェアハウスで鬼太鼓を迎えてみませんか」 佐渡を代表する郷土芸能「鬼太鼓」。島内には約120地区の鬼太鼓があり、集落のお祭りでは家々を一軒一軒門付けし五穀豊穡、家内安全を祈願します。そのお祭りを見るだけでなく、実際に「鬼太鼓を家で迎える」体験をし、この日は集落の一員として滞在していただくプログラムです。
--

(3) 体験の内容

<ul style="list-style-type: none">・ 集落内のシェアハウス (集落の民家や空き家) で、鬼太鼓を迎える体験交流型イベントです。・ 迎えるための祭り料理を地元のお母さん方と作ったり、地元若手と交流したりします・ もちろん鬼太鼓の見学もできます。
--

(4) 受入主体

(5) 受入期間

女子×祭り実行委員会	4月1回、5月1回、10月1回
------------	-----------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までおよび現地での交通費: 自己負担 体験交流代: 5,000円 (食材費実費、体験代)
①要件	佐渡島の地元に根付いた祭りを体験してみたい、あるいは佐渡島での生活を検討している女性
②応募締切り	募集開始時に詳細を公表します。
③宿泊施設	募集開始時に詳細を公表します。
④食事形態	募集開始時に詳細を公表します。
⑤その他	女性限定の企画イベントです。ただし、お祭り自体はどなたでも見学できます。

(7) 地域担当者から一言

年に1度の地元のお祭りを、暮らすように体験できる貴重な機会だと思います。地域の人々の笑顔と鬼太鼓のかっこよさ、老若男女から愛され、誇りでもあるお祭りにどうぞお越し下さい。

(8) お問い合わせ先

自治体名 佐渡市	担当部署 地域振興課 移住定住促進係
(ふりがな) もりた ひろふみ 担当者氏名 森田 洋史	TEL: 0259-63-4152 (直通) FAX: 0259-63-5125
E-mail: k-kikaku@city.sado.niigata.jp	
URL: https://www.city.sado.niigata.jp/	
応募宛先 応募連絡先 女子×祭り実行委員会 e-mail: joshi.matsuri@gmail.com	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 37 : 新潟県^{さどし}佐渡市 (人口: 57,357人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東京駅 → 新潟駅 (上越新幹線 約2時間 (最速で約1時間40分))
路線バス 新潟駅 → 佐渡汽船下車 (乗車時間約15分)
佐渡汽船 新潟港～両津港 カーフェリー (約2時間30分) 高速船 (約1時間)
両津港～各地域 新潟交通佐渡 バス (20分～40分)

(2) 事業実施の目的等

先進国で初めて認定された世界農業遺産の象徴的な景観でもある棚田地域での、農作業、里山保全活動、地域での暮らしを体験し、暮らす人々と交流する。地域の魅力を探す。

(3) 体験の内容

農林漁業体験 (例 田んぼ: 種まき、田植え、草刈り、稲刈りなど
竹林整備、漁師の手伝い)
地域行事への参加 (伝統芸能支援、各種イベントのお手伝い)

(4) 受入主体

佐渡市前浜地域 岩首談義所

(5) 受入期間

随時

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費・食事代: 宿泊費 2500円～、食費 実費
①要件	棚田地域での農業、文化、生活に興味があり、体力がある方
②応募締切り	通年受入れ (季節によって体験作業が異なります)
③宿泊施設	農林漁業体験民宿 (予定)、他 受入れ集落によって異なります。
④食事形態	自炊が基本です。
⑤その他	農作業が可能な服装、季節に合わせた装い。 長靴、軍手等の貸出あり。

(7) 地域担当者から一言

離島での生活体験、伝統文化を身近で感じるとともに、地域の人々との交流で島の魅力や温かみも体感できます。気持ち良い風の吹く棚田の景観を楽しめると思います。

(8) お問い合わせ先

自治体名 佐渡市	担当部署 地域振興課 移住定住促進係
(ふりがな) もりた ひろふみ 担当者氏名 森田 洋史	TEL: 0259-63-4152 (直通) FAX: 0259-63-5125
E-mail: k-kikaku@city.sado.niigata.jp	
URL: https://www.city.sado.niigata.jp/	
応募宛先 〒952-0857 新潟県佐渡市岩首573 岩首談義所 (大石 090-5345-9020)	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 38 : ^{たかおかし} 富山県高岡市 (人口 : 174,958人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

あいの風とやま鉄道 (高岡駅=福岡駅) 10分
 高岡市公営バス・五位山線 (福岡駅前=山ぼうし前) 50分 ⇒ ロッジ・やまぼうし

(2) 事業実施の目的等

五位山地域において、農業・自然体験・イベント等を通じ地域住民とコミュニケーションを図るなど、地域活性化及び定住促進につなげるもの。

(3) 体験の内容

五位山交流館及び『とやま・ふくおか家族旅行村』を核とし、周辺地域での農業体験 (竹林整備、草刈、収穫体験) や地域間交流イベントの参加などを行う。

(4) 受入主体

五位山活性化協議会

(5) 受入期間

8月～11月ごろ (予定) ※要相談
 2泊3日 4組 (1組2名)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：1/2 補助 食事代：昼のみ自己負担
①要件	自然体験、農業体験 ※体験による空き家定住希望者等
②応募締切り	随時募集 活動状況は、『とやま・ふくおか家族旅行村』HP掲載
③宿泊施設	地区内空き家、五位山交流館、『とやま・ふくおか家族旅行村』
④食事形態	『とやま・ふくおか家族旅行村』ロッジ山ぼうし
⑤その他	1組2人以上を原則とします。

(7) 地域担当者から一言

当地域周辺は豊かな自然に囲まれた中山間地にあります。現在地域の人口は減り続け、高齢者が占める割合が年々高くなる状況にあります。地域や地域産業 (農林) の維持存続を図るためにも、新たに若い方等を招き、地域の活性化 (村おこし) につなげたいと考えております。是非お力をお貸しください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 高岡市福岡総合行政センター	担当部署 産業建設課
(ふりがな) 担当者氏名 関 昌平	TEL : 0766-64-1426 (直通) FAX : 0766-64-0566
E-mail : f-sanken@city.takaoka.lg.jp	
URL : http://www.	
応募宛先 〒933-0192 富山県高岡市福岡町大滝 12	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 39 : ^{たかおかし} 富山県高岡市 (人口 : 174,958人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

あいの風鉄道・JR 氷見線 (高岡駅=雨晴駅) 20分
送迎バス (雨晴駅=自然休養村) 10分

(2) 事業実施の目的等

多くの若者等に高岡市太田の農業・自然体験をしてもらい、太田の魅力などの意見を聞いて事業などに取り入れたい。

(3) 体験の内容

高岡市自然休養村で、農作業・収穫体験などのグリーン・ツーリズムを行う。

例：ブドウ、りんご等の摘果、収穫体験 (殿山農園)、さつまいも掘り (太田農園)、石焼きイモづくりなど

(4) 受入主体

一般社団法人高岡市自然休養村公社

(5) 受入期間

4月～11月
1日程度 (先着順)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担
①要件	自然体験を楽しみたい方
②応募締切り	随時募集(一年の活動は自然休養村HPに掲載) 電話にてお申込みください。
③宿泊施設	高岡市自然休養村にて宿泊できます。
④食事形態	高岡市自然休養村にて宿泊できます。(昼食は軽食を提供。夕飯は宿泊客のみ)
⑤その他	4人以上の団体対象 少人数の場合、受け入れが出来ないこともあります。

(7) 地域担当者から一言

高岡市自然休養村(アップレハウス)のある太田地区は、富山湾越しに3,000m級の立山連峰を望む雨晴海岸をはじめ文化・歴史、古くは万葉集の息吹きを感じることができます。アップレハウスは雨晴海岸を一望でき、自然体験活動の合間には「世界で最も美しい湾クラブ」に選ばれた壮大な雨晴海岸の風景が目に入るでしょう。このような素晴らしい立地にある高岡市自然休養村で、ブドウ摘みやサツマイモ収穫といった体験をしてみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名 高岡市	担当部署 一般社団法人 高岡市自然休養村公社
(ふりがな) おおむら とものり 担当者氏名 大村 友則	TEL : 0766-44-6800 (直通) FAX : 0766-44-7818
E-mail : info@appare-house.org	
自然休養村 アップレハウス HP : http://www.appare-house.org/	
応募宛先 〒 933-0133 富山県高岡市太田6566-1	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

NO. — 40 : 富山県高岡市^{たかおかし} (人口: 174,958人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

あいの風とやま鉄道 (高岡駅=福岡駅) 10分

高岡市公営バス・五位山線 (福岡駅前=山ぼうし前) 50分 ⇒ ロッジ・やまぼうし

(2) 事業実施の目的等

「菅笠」は日本の伝統を物語る道具のひとつ。越中福岡の菅笠製作技術は、平成21年に国の重要無形民俗文化財に指定されたが、現状はスゲ栽培農家の高齢化が進み、スゲ田の減少が著しいため、ボランティアの活動支援や後継者育成を図り、菅笠づくりの技の継承と振興を目的に日本の菅笠を次世代につなぐ活動を進めている。

(3) 体験の内容

スゲ田 (学校田や試験田など) の栽培体験、菅笠づくり体験、地元との交流など

(4) 受入団体

(5) 受入期間

越中福岡の菅笠製作技術保存会
越中福岡スゲ生産組合
スゲ支援グループSUGET

5~10月 スゲ栽培
5月中下旬・6月初旬 芽欠き
7月下旬~8月始め 刈取、天日干し
9~10月 苗取り
10月初旬 田植え
冬場 菅笠づくり

(6) 応募上の注意

※費用負担	・現地までの交通費：自己負担 ・宿泊費：自己負担 ・食事代：自己負担
①要件	菅笠づくり (スゲ栽培、笠骨づくり、笠縫い) に興味のある方 楽しみながら菅笠づくりを身につけたい方
②応募締切り	随時、電話、Eメール等で申し込みください。
③宿泊施設	公共宿泊施設、民泊など
④食事形態	自己負担
⑤その他	農作業服、汗ふき、長靴持参

(7) 地域担当者から一言

時代劇や伝統の祭り・踊りなどで使われている菅笠。古代8世紀には生業として生産されていた。15世紀には菅笠座ができています。菅笠は天皇即位式や伊勢神宮の式年遷宮に使う神宝の1つ。まずは伝統の技「菅笠づくり」にふれてみませんか。

(8) お問い合わせ

自治体・担当部署名：高岡市福岡総合行政センター 地域振興課

(ふりがな) たちばな みわこ

TEL (0766) 64-1423 (直通)

担当者氏名 橘 美和子

FAX (0766) 64-5344

応募宛〒939-0132 富山県高岡市福岡町大滝 12 ☎0766-64-1423 Fax0766-64-5344

Eメール f-chiki@city.takaoka.lg.jp

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 4 1 : 富山^{あさひまち}県朝日町 (人口: 12,523人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸新幹線 黒部宇奈月温泉駅
あいの風とやま鉄道 泊駅

(2) 事業実施の目的等

- ・農業の魅力を若い人に伝え、就業への気運を高めたい
- ・若い人とのふれあいによる地域の活性化を図りたい

(3) 体験の内容

- ・農業体験 (収穫・出荷作業等)
- ・朝市での販売体験、6次産業化体験
- ・地域イベント (お祭り等) への参加
- ・地域の自然体験

(4) 受入主体

朝日町役場農林水産課

(5) 受入期間

8月 23日 (水) ~ 8月 29日 (火)
7日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 参加者負担 宿泊費: 無料 食事代: 無料
①要件	18歳以上の農業に興味のある方
②応募締切り	6月30日 (金) 必着 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、担当者まで郵送もしくはメールでご提出ください。
③宿泊施設	農家 町内公共施設
④食事形態	農家では3食提供 公共施設は自炊 (食材提供あり)
⑤その他	作業が出来る服装をご用意ください。

(7) 地域担当者から一言

2016年3月末には若手農業者の団体が設立され、朝日町の一次産業を盛り上げようと奮闘しています。これから益々面白くなる朝日町の農業を体感してみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 朝日町役場	担当部署 農林水産課
(ふりがな) うおづ 担当者氏名 魚津	TEL: 0765-83-1100 (内線 233) FAX: 0765-83-1109
E-mail: nousui@int.town.asahi.toyama.jp	
URL: http://www.town.asahi.toyama.jp/	
応募宛先 〒 939-0793 富山県下新川郡朝日町道下 1 1 3 3 朝日町役場農林水産課	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 4 2 : 福井県^{ふくいし}福井市 (人口: 265,720人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸本線 福井駅 福井市役所まで徒歩約5分
(福井駅までの所要時間: 東京から約3時間30分、大阪から約1時間50分、名古屋から約2時間)

(2) 事業実施の目的等

- ・直接、福井市に来て、福井市の農業を知ってほしい
- ・福井市へUIターンした新規就農者から、福井の農業について直接聞ける機会有り

(3) 体験の内容

- ・産地の視察及び新規就農者との意見交換
- ・農業施設の紹介
- ・農業体験(収穫体験など(季節による))
- ・1泊2日コース、2泊3日コースなどご都合に合わせてます

(4) 受入主体

福井市農政企画室

(5) 受入期間

随時(出来る限りご希望に合わせてます)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 最寄り駅から福井駅までの往復交通費を補助 宿泊費: 上限5,000円を補助 食事代: 実費
①要件	福井県外に住所があり、福井市での就農に興味のある方
②応募締切り	随時
③宿泊施設	特に指定なし
④食事形態	視察コースによる
⑤その他	軽作業が出来る服装を用意してください

(7) 地域担当者から一言

福井市では県外から就農を希望する方を求めています!
福井市で開発された「金福スイカ」をあなたも作ってみませんか!

(8) お問い合わせ先

自治体名	福井県福井市	担当部署	農林水産部 農政企画室 営農支援係
(ふりがな)	たかやなぎ かずや	TEL:	0776-20-5420(直通)
担当者氏名	高柳 和也	FAX:	0776-20-5740
E-mail:	nousei@city.fukui.lg.jp		
URL:	http://www.city.fukui.lg.jp/dept/d320/nousei/index.html		
応募宛先	〒910-8511		
福井県福井市大手3丁目10番1号 福井市役所 農政企画室 営農支援係			

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 43 : ^{ふくいし} 福井県福井市 (人口: 265,720人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸本線 福井駅

(福井駅までの所要時間: 東京から約3時間30分、大阪から約1時間50分、名古屋から約2時間)

(2) 事業実施の目的等

「福井のことについて詳しく知りたい」、「福井で働くことのメリットは何か」などと考える、U・Iターン志向の若年者の増加を図り、福井市へのU・Iターン就職者を増やすことを目的として下記(3)のプログラムを実施します。

(3) 体験の内容

- ・ 市内企業における企業見学や先輩社員との座談会
- ・ 市内企業経営者や福井市へのU・Iターン者との座談会
- ・ 福井市へのU・Iターン促進に関するアイデアプランコンテスト

(4) 受入主体

ふくいU・Iターンサマーキャンプ実行委員会

(5) 受入期間

8月下旬～9月中旬
のうちの5泊6日の合宿形式

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 無料 (宿泊費も事務局が負担します) 現地までの交通費: 県外からの参加者は福井駅までの往復交通費の半額を補助 (上限 15,000 円) 食事代: 自己負担
①要件	福井で働くこと・暮らすことに興味のある大学生 (就職内定者を除く)
②応募締切り	8月上旬 (7月上旬から応募開始の予定です。)
③宿泊施設	市内宿泊施設 (事務局が手配します。)
④食事形態	自己負担
⑤その他	参加を希望される方はいつでもお問い合わせ先へ連絡してください。 最終日に開催するアイデアプランコンテストで成績優秀だった方には福井市の特産品などの豪華景品をプレゼントします。

(7) 地域担当者から一言

人口減少問題への対応や地域創生の観点から、特に若年者のU・Iターン就職者の増加を図ることが課題となっています。若者にとって魅力ある職場づくりを進めるため、学生の豊かなアイデアを提案していただき、福井市や企業などが取り組むように検討します。

(8) お問い合わせ先

自治体名 福井市	担当部署 商工労働部 しごと支援課
(ふりがな) きむら たかひろ 担当者氏名 木村 貴弘	TEL: 0776-20-5321 (直通) FAX: 0776-20-5738
E-mail: shigoto@city.fukui.lg.jp	
URL: http://fukuisummercamp.wixsite.com/fukui	
応募宛先 〒910-0858 福井県福井市手寄1丁目4-1 アオッサ5F	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 44 : 福井県^{おおのし}大野市 (人口: 33, 109人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線) 越前大野駅下車、京福バス 大野六間バス停下車

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・大野にUターンし起業した方の生の声を聞いて移住を検討する際の参考にしてほしい。

(3) 体験の内容

■コーヒー店での接客 など

(4) 受入主体

モモンガコーヒー
(<https://ja-jp.facebook.com/momonga.coffee/>)

(5) 受入期間

随時 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館等
④食事形態	自己負担
⑤その他	学生割引あり

(7) 地域担当者から一言

大野の水で淹れたこだわりのコーヒーを提供している落ち着いた雰囲気のお店です。
お客さんとして行くだけでは分からない隠れた魅力を発見できるかもしれません!

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部企画財政課結 ^{ゆい} の故郷推進室
(ふりがな) きしもとみなみ 担当者氏名 岸本 峰波	TEL: 0779-66-1111 (直通) 2512 (内線) FAX:
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://yuinokuni.jp/onogurashi/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-7-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 45 : ^{おおのし} 福井県大野市 (人口: 33, 109人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線) 越前大野駅下車徒歩20分、
 まちなか循環バス 大野高校口 下車徒歩13分

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・大野に1ターンし起業した方の生の声を聞いて移住を検討する際の参考にしてほしい。

(3) 体験の内容

■カフェ兼ゲストハウスでの接客ほか

(4) 受入主体

(5) 受入期間

Cafe & Guest house Name came Ono 【カフェ ナマケモノ】 (http://cafenamecameono.wixsite.com/top-page)	随時 3日間
--	--------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館等
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	学生割引あり

(7) 地域担当者から一言

1ターンした店主自身が大野暮らしを満喫しているカフェで、二階はゲストハウスになっています。地域の魅力を知ることができたり、様々なお客さんと出会えるはず。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部企画財政課結 <small>ゆい</small> の故郷推進室
(ふりがな) きしもとみなみ	TEL: 0779-66-1111 (直通) 2512 (内線)
担当者氏名 岸本 峰波	FAX:
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://yuinokuni.jp/onogurashi/	
応募宛先 〒912-0131	TEL: 0779-7-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp
福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト(大野市移住定住業務委託団体)	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 46 : 福井県^{おおのし}大野市 (人口: 33, 109人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線) 越前大野駅下車、京福バス 大野三番バス停下車

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・若い人の意見や視点が知りたい
- ・大野の自然を活かした活動を体験してほしい。

(3) 体験の内容

- 自然ガイド
- 地域コンサルタント
- 森林体験活動補助

(4) 受入主体

奥越前まんまるサイト
 (<http://okuetu-manmaru.com/>)

(5) 受入期間

随時 3日間(応相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方 アウトドアが好きな方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館等
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	学生割引あり

(7) 地域担当者から一言

アウトドアが好きな方にオススメです。豊かな自然を満喫しながら活動することができるメニューです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部企画財政課結の故郷推進室
(ふりがな) きしもとみなみ 担当者氏名 岸本 峰波	TEL: 0779-66-1111(直通) 2512(内線) FAX:
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://yuinokuni.jp/onogurashi/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-7-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 47 : ^{おおのし} 福井県大野市 (人口: 33, 109人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線) 越前大野駅下車、京福バス 大野三番バス停下車

(2) 事業実施の目的等

- ・外からの視点を取り入れたい。
- ・若い人の意見や視点が知りたい
- ・大野にUターンした方の生の声を聞いて移住を検討する際の参考にしてほしい。

(3) 体験の内容

- 地域活性化につながるさまざまな事業の展開
- 商品開発・観光資源創出 など

(4) 受入主体

笑人堂
 (<http://www.syonindo.com/>)

(5) 受入期間

随時(事前予約が必要です) 1週間~

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方 地域・農業・販売促進などのコンサルティングに興味のある方
②応募締切り	随時受付(体験希望日1か月以上前の予約が必要です)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館等
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	学生割引あり

(7) 地域担当者から一言

地域活性化のために様々な事業を展開している企業です。大野、福井ならではの食材や食品を知ることができます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部企画財政課結 <small>ゆい</small> の故郷推進室
(ふりがな) きしもとみなみ 担当者氏名 岸本 峰波	TEL: 0779-66-1111 (直通) 2512 (内線) FAX:
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://yuinokuni.jp/onogurashi/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-7-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 48 : 福井県^{おおのし}大野市 (人口: 33, 109人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線) 越前大野駅下車、 まちなか循環バス 城下町東広場口下車

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・若い人の意見や視点が知りたい
- ・大野の農業について知ってほしい

(3) 体験の内容

■農作物の集荷・販売 など

(4) 受入主体

越前おおの農林楽舎
(<http://www.ono-gakusya.jp/>)

(5) 受入期間

春～秋 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館等
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	学生割引あり

(7) 地域担当者から一言

野菜の集荷などの際には、農家さんがつくった採れたての野菜を間近に見ることができます。一番身近な“食”を考えるきっかけになるかもしれません。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部企画財政課結の故郷推進室
(ふりがな) きしもとみなみ 担当者氏名 岸本 峰波	TEL: 0779-66-1111 (直通) 2512 (内線) FAX:
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://yuinokuni.jp/onogurashi/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-7-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 49 : 福井県^{おおのし}大野市 (人口: 33, 109人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線) 越前大野駅下車、京福バス 大野三番バス停下車

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・農業を実際に体験してほしい

(3) 体験の内容

農作業・加工製造

(4) 受入主体

農家

(5) 受入期間

4～10月

3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方 元気がよく、心身ともに健康な方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館等
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	学生割引あり

(7) 地域担当者から一言

除草や収穫・室内での加工作業など、内容は様々です。収穫の喜びや難しさなどを体験してみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部企画財政課結の故郷推進室
(ふりがな) きしもとみなみ 担当者氏名 岸本 峰波	TEL: 0779-66-1111 (直通) 2512 (内線) FAX:
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://yuinokuni.jp/onogurashi/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-7-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 50 : 福井県^{おおのし}大野市 (人口: 33, 109人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線) 越前大野駅下車、京福バス 大野三番バス停下車

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・若い人の意見や視点が知りたい
- ・大野にUターンした方の生の声を聞いて移住を検討する際の参考にしてほしい。

(3) 体験の内容

■農家での農作業・加工製造

(4) 受入主体

大野市内農家

(5) 受入期間

4月～10月 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方 元気がよく、心身ともに健康な方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館等
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	学生割引あり

(7) 地域担当者から一言

除草や収穫・室内での加工作業など内容は様々。時期に合わせた様々な体験ができます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部企画財政課結 ^{ゆい} の故郷推進室
(ふりがな) きしもとみなみ 担当者氏名 岸本 峰波	TEL: 0779-66-1111 (直通) 2512 (内線) FAX:
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://yuinokuni.jp/onogurashi/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-7-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 51 : 福井県^{おおのし}大野市 (人口: 33, 109人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR越美北線(九頭竜線) 越前大野駅下車、 まちなか循環バス 結ステーション

(2) 事業実施の目的等

- ・大野の暮らしを体感してほしい
- ・市外に住む若い人の意見や視点が知りたい

(3) 体験の内容

■特産品販売や地場産食材レストラン、展示及びイベント施設での観光客や地元住民へのおもてなし

(4) 受入主体

平成大野屋
(<http://www.h-onoya.co.jp/>)

(5) 受入期間

随時 3日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	田舎暮らしに興味のある方、体験してみたい方
②応募締切り	随時受付(応募宛先まで、お気軽にお問い合わせください)
③宿泊施設	移住体験施設、ゲストハウス、市内旅館等
④食事形態	要相談(自己負担あり)
⑤その他	学生割引あり

(7) 地域担当者から一言

アンテナショップやイベントスペースには、たくさんの観光客が訪れます。ぜひ、外の視点から見たおもてなしの工夫などを提案してください!

(8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 企画総務部企画財政課結 ^{ゆい} の故郷 ^{くに} 推進室
(ふりがな) きしもとみなみ 担当者氏名 岸本 峰波	TEL: 0779-66-1111 (直通) 2512 (内線) FAX:
E-mail: yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp	
URL: http://yuinokuni.jp/onogurashi/	
応募宛先 〒912-0131 TEL: 0779-7-1117 E-mail: ono.iju@goo.jp 福井県大野市南六呂師 169-124 奥越前まんまるサイト	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 52 : 福井県おおい町^{ちょう} (人口: 8, 325人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR小浜線 若狭本郷駅下車 おおい町役場まで徒歩5分

※高速バス: 大阪-小浜(近鉄バス (若狭本郷駅で途中下車))

京都-小浜(JR西日本(東舞鶴駅で途中下車、若狭本郷駅までJR利用))

(2) 事業実施の目的等

『おおい町学生まちづくり政策コンテスト』

学生の目線・感性・考え方により、おおい町のまちづくりの課題・隠れた魅力・まだ気付いていない地域資源を発見し、これまでにないまちづくりのアイデアを政策提言いただくことを狙っています。また、おおい町を一度体験いただき、観光・交流につなげたいと考えています。

(3) 体験の内容

指定するテーマを実現する政策提言に向けての町内でのフィールドワーク

(内容は参加者が自由に設定します。)

※28年度の例: 農業体験、観光スポット等でのアンケート調査、有害鳥獣(ジビエ)の現地調査、空き家(見学・NPOとの意見交換等)

(4) 受入主体

おおい町

(5) 受入期間

7~8月の間の指定の3日間程度(予定)

※応募が必要です。日程は公募の際に提示します。

(6) 応募上の注意

※費用負担	6~10名程度のチーム参加を想定、チームに活動費を支給します。 (1名あたり2万円程度、現地までの交通費、宿泊費、調査費に充当可能)
①要件	・まちづくりに関心がある大学生6~10名程度でのチーム参加ができること ・11~12月に開催予定の政策発表会にも参加し、プレゼンを行うこと
②応募締切り	公募を実施(おおい町HP等で案内します。(4月頃予定))
③宿泊施設	各自対応(キャンプ場・民宿等あり)
④食事形態	各自対応
⑤その他	・応募多数の場合、事前選考を実施します。 ・28年度の実施状況はHPで公表しています。

(7) 地域担当者から一言

大学での研究成果をおおい町のまちづくりの政策提言として実践してみませんか。優秀なアイデアは実際に町で事業として実現していきます。

(8) お問合せ先

自治体名 おおい町	担当部署 総合政策課
(ふりがな) おおかべ ひろし 担当者氏名 大壁 寛司	TEL: 0770-77-4051 (直通) FAX: -
E-mail: seisaku@town.ohi.lg.jp	
URL: http://www.town.ohi.fukui.jp/sypher/www/normal_top.jsp	
応募宛先 〒919-2111 福井県大飯郡おおい町本郷136-1-1 ※内容・応募方法はおおい町HP等で案内(4月頃予定)します。	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 53 : ^{こすげむら} 山梨県小菅村 (人口: 740人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R青梅線 奥多摩駅下車	西東京バス	小菅の湯行	小菅の湯停留所 (約60分)
J R中央線 大月駅下車 (※)	富士急行バス	小菅の湯行	小菅の湯停留所 (約60分)
※ 時間帯によっては猿橋駅からも乗車可能です			

(2) 事業実施の目的等

<ul style="list-style-type: none"> ・学生と村民をつなげることで、学生にも村民にも生き生きとした時間を過ごしてほしい。 ・より多くの大学とのつながりを作り、多様な学生に村で活動してほしい。 ・若い人に小菅村の魅力を知ってほしい。
--

(3) 体験の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・神社祭典への参加 ・多摩川源流体験教室のインストラクター体験 ・その他地域行事や多摩川源流大学の実習等への参加 (要望に応じて追加・変更等は別途ご相談させていただきます)
--

(4) 受入主体

(5) 受入期間

NPO法人多摩源流こすげ	8月上旬 ~ 9月下旬 ※期間中2週間程度
--------------	--------------------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・現地までの交通費: 自己負担 (新宿から電車とバスで片道約2,000円) ・食事代: 自己負担 (下記④食事形態のとおり) ・宿泊費: 不要
①要件	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川の源流域の地域づくりに興味があり、積極的に取り組める人 ・人とかかわることが好きな人
②応募締切り	6月30日(金) 必着 別添の参加申込書及び小論文に必要事項を記載の上、下記応募先まで郵送にて提出してください。
③宿泊施設	受入側が用意します。
④食事形態	基本的に宿泊施設で自炊。
⑤その他	虫よけ・防寒のため長袖・長ズボンを用意してください。

(7) 地域担当者から一言

<p>小菅村は「東京から一番近い村」で周囲を豊かな自然と3つの峠に囲まれた小さな谷合の村です。陽気で働き者の村民の皆さんや村に移住してきた若者たち、村内で活動する大学生たちと一緒に汗を流しながら、小菅村にあなたの「居場所」を作ってみませんか。</p>

(8) お問い合わせ先

自治体名	小菅村	担当部署	NPO法人多摩源流こすげ
(ふりがな)	いしがか しんご	電 話 :	0428-87-7055
担当者氏名	石坂 真悟	F a x :	0428-87-7057
E-mail : info@npokosuge.jp			
URL : http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp 若しくは http://npokosuge.jp/			
応募宛先	〒409-0211	山梨県北都留郡小菅村 1911	

○各テーマごとに小論文を作成してください。

・なぜ「若者と地方の交流事業」に参加しようと思ったのですか？

・インターン期間中に小菅村であなたのやりたい事は何ですか？

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 54 : ^{いいだし}長野県飯田市 (人口: 101,581人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

中央高速バス 飯田駅前バス停 【東京方面】 新宿バスターミナルから約 4 時間 【名古屋方面】 名鉄バスセンターから 約 2 時間
--

(2) 事業実施の目的等

ワーキングホリデー飯田 : 農業に関心がある方や農業に取り組んでみたい方と、農繁期の手助けを必要としている農家を結びつける長野県飯田市の“援農”制度です。

(3) 体験の内容

飯田市内の農家の作業手伝い。 ・主な作業内容 果樹 リンゴ、梨、もも (春: 摘花、摘果 夏から秋: 収穫) 柿 (干し柿) (秋: 収穫 干し柿加工作業) 野菜 植付から収穫まで受け入れ時期に適した作業 など ・受入農家と参加者同士の交流会 (春・秋のみ)

(4) 受入主体

ワーキングホリデー飯田事務局 (飯田市農業振興センター)

(5) 受入期間

通年 (基本3泊4日)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 参加者負担 宿泊費: 無料 (受入農家へ民泊) 食事代: 無料 (受入農家で食事)
① 要件	健康で農作業ができる者
② 応募締切り	希望する初日の2週間前まで「ワーキングホリデー参加申込書」に必要事項を記入のうえ、郵送、FAX、電子メールで申込み ※郵送先は、(8) お問合せ先欄に掲載の住所へ
③ 宿泊施設	受入農家で民泊
④ 食事形態	受入農家で食事提供
⑤その他	作業ができる服装、着替え、洗面道具などを準備してください。

(7) 地域担当者から一言

飯田は果樹栽培が盛んです。春はりんごの摘花・摘果、秋には梨、桃、りんごの収穫、干し柿作りのための皮むき・吊し等、短期間に作業が集中し、農家は手間の確保に苦慮しています。農作業の手助けが必要な農家の要望と、都市住民の田舎志向や就農志向の高まりを背景にこの事業は平成10年にスタートし、定評と実績として年間約400名、総計約6,000名が参加しています。

(8) お問合せ先

自治体名	飯田市	担当部署	産業経済部 農業課 農業振興センター係
(ふりがな)	ごとうあきよ まつえひでのり	TEL: 0265-21-3217	(直通)
担当者氏名	後藤章代、松江秀則	FAX: 0265-52-6181	
E-mail	worholi@city.iida.nagano.jp		
URL	http://www.city.iida.lg.jp/site/waki/		
応募宛先	〒 395-0817 長野県飯田市鼎東鼎 281 番地 飯田市農業振興センター (農業課) 内 ワーキングホリデー飯田事務局		



通年期間 ワーキングホリデー飯田 参加申込書

●ご記入ください。

ふりがな 氏名	年齢	歳	性別	電話
	生年 月日	・	・	F A X
住 所	〒		職業	携 帯
				eメール
参加動機 (複数回答)	①農作業体験 ②農家との交流 ③農家における生活体験 ④飯田という地域を知るため ⑤農業技術の習得 ⑥田舎暮らしへの一歩 ⑦その他 ()			

●希望期間を記入ください。

	通年期間	月	日頃から	滞在可能	日間
備考	希望作業内容や留意点を具体的にご記入ください。 (前回お世話になった〇〇さん宅希望、家畜に触れられない、肉類は食べられない等)				

【郵送先】395-0817 飯田市鼎東鼎 281 番地 飯田市農業振興センター (農業課)
ワーキングホリデー飯田事務局

【FAX 送信先】0265-52-6181

【備考】

- ・ 春の連休期間(ゴールデンウィーク期間)は、申込用紙が異なります。
- ・ 秋の連休期間(11月上旬及び下旬の連休期間)は、申込用紙が異なります。
- ・ 上記の期間向け申込用紙は、以下の期間にかぎってホームページに掲載予定です。
 - 春の連休期間向け申込用紙の掲載期間：毎年3月1週目～2週目
 - 秋の連休期間向け申込用紙の掲載期間：毎年9月1週目～2週目

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 55 : こうみまち 長野県小海町 (人口: 4, 759人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR小海線 小海駅

・長野新幹線 東京駅から佐久平駅 (約1時間20分) → ・小海線 佐久平駅から小海駅 (約40分)

(2) 事業実施の目的等

小海町では少子高齢化、過疎化などが進行しており、“地域の担い手不足”という課題に直面しています。そこで「田舎暮らしインターンシップ」では「田舎暮らしに興味がある」「農林業を始めたい」「地域の活性化に携わってみたい」といった方たちを対象に小海町を活動の場として、この地域ならではの様々な仕事を体験してもらい、また交流を通して、地域の魅力、地域活性のヒントを感じてもらい新たなつながりを目的とします。

(3) 体験の内容

研修期間は1期間を1週間とし、申込みは随時、受付けます。

○農業体験 (主に白菜、レタス、キャベツ等の高原野菜各農家)

・土づくり (4月～5月) ・畝立て、マルチ張り (5月) ・育苗 (4月～8月)

・定植 (4月～8月) ・収穫 (6月～10月) の体験及び技術の習得

○林業体験 (森林組合)

・地拵え、植え付け ・下刈り ・除伐 ・間伐 ・主伐 の体験及び技術の習得

○商業部門

・豆腐店

1大豆洗浄 2浸漬 3粉碎 4煮沸 5ろ過 (おから分離) 6凝固

7カット 8水さらし 9パック詰 10配達 の体験及び技術の習得

・パン屋

1材料準備 2生地を作る 3第一発酵 4分割・丸め 5ベンチタイム

6成形・型詰め 7第二発酵 8焼成 9販売といった製造工程の体験及び技術の習得

・他にジャム加工者、養蜂店、飲食店、建設業等事業所、観光宿泊業

などを体験してもらい、地域づくりへの提言をいただきます。

(4) 受入主体

小海町

(5) 受入期間

平成29年4月1日(土)～

平成30年3月16日(金)

(6) 応募上の注意

※費用負担	小海町の負担分・・・宿泊費、損害保険代 参加者負担分・・・上記以外 (現地までの交通費、食事代など)
①要件	小海町での暮らしに興味のある方、農林商業等を体験してみたい方、地域活性化に興味のある方
②応募締切り	平成30年2月28日(水)
③宿泊施設	民宿及び旅館
④食事形態	民宿及び旅館では、朝食、夕食は用意できますが、自己負担となります。 昼食は各自
⑤その他	・作業ができる用意をしてください。

(7) 地域担当者から一言

町内の農家さん、林業経営者、パン家さん・豆腐店等商業を営む店舗等の元で、小海町での仕事を体験してもらいます。高原のきれいな空気のなかで仕事をしてみませんか。小海町ではあなたのやる気と地域づくりの提言を必要としています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 小海町役場	担当部署 総務課 企画係
(ふりがな) いで ともよし 担当者氏名 井出 智善	TEL : (代表) 0267-92-2525 (内線) 141 FAX : 0267-92-4335
E-mail : koumi@koumi-town.jp	
URL : http://www.koumi-town.jp/	
応募宛先 〒 384-1192 長野県南佐久郡小海町大字豊里 57-1	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 56 : ^{たつのまち}長野県辰野町 (人口: 20,032人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR辰野駅 徒歩10分 JR宮木駅 徒歩10分

(2) 事業実施の目的等

実践型インターンシップは中小企業の抱える課題に対し学生が自身のスキルを生かして解決することが目的です。今まで学校で学んできたノウハウを実際に企業の経営の中で生かしてもらうことが目的です。

体験型インターンシップは採用計画のある企業と就職希望のある学生が事前に職場体験を通じて採用後のミスマッチを防ぐこと、企業側が学生に職場体験として社会貢献する目的があります。

(3) 体験の内容

実践型インターンシップはインターンシップを受け入れる企業の課題をコーディネーターと企業と共に解決するためのプロジェクトを設計します。夏休みや春休みといった長期の休みを利用して1ヶ月から最長6ヶ月間の期間、実際に企業に入ります。最後は成果報告会が開催されますので実績を報告していただきます。

体験型インターンシップは企業の普段の仕事を体験していただきます。期間2日から5日です。

(4) 受入主体

辰野町

(5) 受入期間

通年

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費： 応相談 宿泊費： 応相談 食事代： 応相談
① 要件	健康で意欲ある学生を募集しています。
② 応募締切り	常時受け付けています。
③ 宿泊施設	基本的には企業側で準備しますが応相談です。
④ 食事形態	応相談
⑤ その他	応相談

(7) 地域担当者から一言

辰野町ホームページ「たつのシゴト」ご覧ください。昨年おととしと多くの学生が成果をだしています。ぜひあなたの参加をお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 辰野町	担当部署 産業振興課商工振興係
(ふりがな) みうら のざわ 担当者氏名 三浦 野澤	TEL : 0266-41-1111(2145) FAX : 0266-41-4651
E-mail : sangyou@town.tatsuno.nagano.jp	
URL : http://www.tatsuno-job.jp	
応募宛先 〒399-0493 長野県上伊那郡辰野町中央1番地	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 57 : ^{いいじままち}長野県飯島町 (人口: 9, 685人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・ JR飯田線 飯島駅
- ・ 中央高速バス 飯島停留所

(2) 事業実施の目的等

企業や農家での体験を通じて地域課題の解決や魅力の再発見を行うことで、地域との新たなつながりをつくり、気軽に遊びに来られるような関係になってもらいたい。
飯島町は女性役員の登用率が高い町です。特に「田舎暮らしに興味があり」「地域を盛り上げたい」という女性に興味をもってもらいたい。

(3) 体験の内容

- ・ 農業体験 (野菜、花、米、果樹) ※農繁期には町ホームページでも募集します。
- ・ 企業訪問と職場体験 (1泊2日)
- ・ 企業訪問と実践型インターンシップ (2泊3日 定期的な来町あり)
- ・ 町内見学と地域住民との交流 (1泊2日～ 最長1週間) ※まちづくりへの提言をまとめる

(4) 受入主体

飯島町

(5) 受入期間

平成29年5月1日(月)～3月25日(日)

(6) 応募上の注意

※費用負担	体験者: 現地までの交通費と食事代、宿泊代の一部 ※宿泊料: 地域住民宅は無料、体験施設は2,000円程度負担 飯島町: 保険代、宿泊料の一部
①要件	飯島町での暮らしに興味のある方で、農業に就きたい方又は地域を元気にしたいと熱意のある方
②応募締切り	体験日の2週間前
③宿泊施設	農家、体験施設「アグリネーチャーいいじま」
④食事形態	食事は自己負担となります。 ※農業体験については農家からの提供もあり
⑤その他	企業訪問は希望をお聞きます。

(7) 地域担当者から一言

飯島町は東京から3時間半、名古屋からは2時間で来られる「ほどよい田舎」。水も空気も食べ物も美味しい飯島町へお越しください。地域のみなさんとの楽しい交流もご用意しています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 飯島町	担当部署 企画政策課 定住促進室
(ふりがな) かたぎりちかこ 担当者氏名 片桐 知加子	TEL: 0265-86-3111 (内線224) FAX: 0265-86-4395
E-mail: iiteijyuu@town.iijima.lg.jp	
URL: http://www.town.iijima.lg.jp/	
応募宛先 〒399-3797	長野県上伊那郡飯島町飯島 2537

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 58 : ^{あなんちょう}長野県阿南町 (人口: 4, 814人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

豊橋・浜松よりR151 約120分、名古屋より中央道、三遠南信道天竜峡IC 経由約1時間40分
飯田線温田駅より約15分

(2) 事業実施の目的等

- ・若い人の意見を聞きたい、取り入れたい。
- ・地域を体験してほしい。

(3) 体験の内容

- ・農業体験 (田植え、トマトの収穫など)
- ・地域イベント (盆踊りなどの伝統行事への参加と協力)
- ・地域資源調査及びそれらを活用した地域づくりへの提言

(4) 受入主体

受入主体: 一般社団法人信州あなんトータルマーケティング、農家民宿連絡会
地 域 名: 阿南町

(5) 受入期間

5月 1日 (月) ~ 10月31日 (火)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 農家民泊 8,000円 食事代: 昼食は500円
① 要 件	3都市圏居住の20歳以上の大学生及び大学院生で、田舎に興味を持ち、人との触れ合いが好き、そして好奇心旺盛な人
② 応募締切り	受入れ期間中随時受付 担当者まで fax またはメールでお問い合わせください。
③ 宿泊施設	農家民泊 (農家のお宅にホームステイ)
④ 食事形態	農家民泊では朝・夕を提供 (昼食は500円)
⑤ そ の 他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

町の観光産業発展のため、あなたのフレッシュな意見を必要としています。国指定の重要無形文化財を3つ有する当町で田舎の暮らし、文化に触れてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 阿南町役場	担当部署 一般社団法人信州あなんトータルマーケティング 観光振興、農家民宿担当
(ふりがな) キヤマ ノブキ 担当者氏名 菊島 延幸	TEL: 0260-31-1300 (直通) FAX: 0260-22-2600
E-mail: s-atom@mis.janis.or.jp	
URL: http://s-atom.org/	
応募宛先 〒399-1502 長野県下伊那郡阿南町東條120-1	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 59 : ^{とよおかむら}長野県豊丘村 (人口: 6, 801人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR東海 飯田線 市田駅 徒歩5分
 中央道高速バス 高森バス停 車10分

(2) 事業実施の目的等

- ・移住定住の目的となりうる地域なのか、若者に聞きたい
- ・この地域の農業の今後の展開について、若者に聞きたい
- ・リニア新幹線開通に向けて、若者が期待する農山村像を知りたい

(3) 体験の内容

- ・移住定住、就農希望者向けの「ワーキングホリデー」に参加してもらう
 果樹等の農業体験

(4) 受入主体

- ・ワーキングホリデーの参加農家と民泊農家

(5) 受入期間

9月1日(金)～3月26日(日)
 ワーキングホリデー開催中ならいつでも

ゲストハウス、お試し住宅完成後はその施設も対応

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 参加者 宿泊費: 公費 食事代: 公費 自炊も有るかも
① 要件	田舎に興味があり、田舎に何らかの可能性を感じている学生
② 応募締切り	ワーキングホリデーの応募に合わせます
③ 宿泊施設	完成した「ゲストハウス」か「お試し住宅」または農家民泊
④ 食事形態	農家民泊で朝夜、村内業者より昼弁当、 又は「お試し住宅」で朝夜自炊 村内業者より昼弁当
⑤ その他	定員を決めるかもしれません

(7) 地域担当者から一言

豊丘村を見て感じた、率直な感想を頂きたい

(8) お問い合わせ先

自治体名 豊丘村	担当部署 産業建設課 移住定住専任
(ふりがな) ほりもと たけふみ 担当者氏名 堀本 文文	TEL: 0265-35-9056 (直通) FAX: 0265-35-9065
E-mail: teiju@vill.nagano-toyooka.lg.jp	
URL: http://www.	
応募宛先 〒399-3295 長野県下伊那郡豊丘村大字神稲3120番地 豊丘村役場 産業建設課 移住定住専任 課長補佐 堀本文文	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 60 : 岐阜県白川村しらかわむら (人口: 1, 673人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

平瀬温泉バス停 徒歩5分
濃飛バス: 高山駅から約1時間15分/岐阜バス: 名古屋駅から約2時間30分

(2) 事業実施の目的等

- 地域の課題を楽しんで解決できる人材、地域行事や事業を共につくっていける人材が欲しい。
- 住まなければわからない地域暮らしの楽しさを手軽に体験して欲しい。
- 社会に出てからの人生の選択肢を広げて欲しい。
- 若者が来ることで、村民にも(お互いに)新たな出会いを通して価値観や世界を広げて欲しい。

(3) 体験の内容

- 地方でのシェアハウス暮らし
- シェアハウスでの地域場のづくり(ご近所付き合い、ワークショップ開催等)
- 廃校活用(物販、飲食業、イベント開催等) ●空き家活用(リノベーション、起業等)
- 地域行事への参画(青年活動、祭り、運動会、盆踊り、クリスマス、美化運動他)

(4) 受入主体

白川村地域おこし協力隊

(5) 受入期間

随時(シェアハウスの空き状況による)
基本的に1ヵ月単位で入居

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 実費 宿泊費: ¥5,000/月+水道光熱費・通信費は実費を入居者で按分 (季節によっても異なるが¥10,000~¥15,000目安) 食事代: 実費(自炊可)
①要件	20歳以上の女性で、人と関わることが好きな人。田舎暮らしのすべては地域の人との出会いから始まります。
②応募締切り	随時(シェアハウスの空き状況による) お電話またはメールにてお問合せください。
③宿泊施設	シェアハウスやまごや以上ほしぞら未満(1ヵ月から入居可) ホームページおよびFacebookページをご覧ください。
④食事形態	各自
⑤その他	具体的なプログラムがない分、シェアハウス、廃校、空き家などを舞台に皆さんのやりたいことができます。ぜひご相談ください。

(7) 地域担当者から一言

白川村は地域の方が本当に温かく優しいです。そのことに感謝して地域に恩返しすることが、地域づくりにつながります。あなたの好きなこと、得意なこと、できることをプレゼントしてみませんか?一度きりの人生、たくさんの人と出会い、楽しく暮らしましょう!

(8) お問い合わせ先

自治体名 白川村	担当部署 観光振興課 地域おこし協力隊
(ふりがな) ふくだ まいこ 担当者氏名 福田 麻衣子	TEL: 05769-6-1311(直通)/090-1279-0438(携帯) FAX: 05769-6-1709
E-mail: mai.fukuda.no5@gmail.com	
URL: http://shirakawa-go.org/topics/10538/ Facebook: https://www.facebook.com/yamahoshi5/	
応募宛先 〒501-5692 岐阜県大野郡白川村鳩谷517(白川村役場)	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

しらかわむら
No.- 61 : 岐阜県白川村 (人口: 1,673人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

白川郷バスターミナル 徒歩8分
濃飛バス：高山駅から約1時間15分／岐阜バス：名古屋駅から約2時間30分

(2) 事業実施の目的等

白川村においては、まちづくりに関する実践者の人材不足が課題（NPO 等の中間支援組織も限られている）であることから、外部の若い人材に関ってもらうこと、もしくは村内の若者に村の課題を理解してもらい、将来、担い手として一人でも多く育てること

(3) 体験の内容

事業名【白川郷ヒト大学】：地域内外の多様なヒトをフックにして、地域課題の解決を目指す場です。新たなヒトの出会いを通して、地域に関わる仕組みやきっかけを生み出していきます。体験内容【若手実践者によるまちづくり授業】【白川村版若者会議（地域課題検討合宿）】

(4) 受入主体

一般社団法人ホワイエ・白川村地域おこし協力隊

(5) 受入期間

5月上旬～9月下旬（イベント実施期間）

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：不要 食事代：自己負担
①要件	・地域課題の解決あるいは移住に興味がある方 ・白川村に貢献したい方 ・今の仕事に悩んでいる社会人・将来の仕事について考えたい若者 (社会人・大学生は問いません)
②応募締切り	随時
③宿泊施設	村施設、民宿（共同生活）
④食事形態	自炊、共同調理、外食（自己負担）
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

日本の原風景と言われる白川村の世界遺産集落内に滞在して、地域課題を解決できるチャンスはそうそうありません。多様なヒトとの出会いが人生の財産になるかもしれません。

(8) お問い合わせ先

自治体名 白川村	担当部署 一般社団法人ホワイエ 柴原 役場 観光振興課 地域おこし協力隊 前盛
(ふりがな) しばはら こうじ 担当者氏名 柴原 孝治 (ふりがな) まえもり よもぎ 担当者氏名 前盛 よもぎ	TEL : 080 - 5591 - 7114 (ホワイエ直通) : 05769-6-1311 (白川村役場直通)
E-mail : shirakawago.human.university@gmail.com	
Facebook : https://www.facebook.com/shirakawago.human.university/	
応募宛先 〒501-5692 岐阜県大野郡白川村鳩谷517 (白川村役場)	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 62 : 静岡県^{ふじえだし}藤枝市 (人口: 146,531人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東海道新幹線静岡駅 → JR 東海道本線 藤枝駅 → バス (藤枝駅ゆらく線)
(20分) (45分)

(2) 事業実施の目的等

藤枝市の中山間地域の一つである「瀬戸谷地域」は自然豊かな環境に加え、有名な陶芸産地ではないながらも陶芸と身近にふれることができる環境が整っている地域です。この環境を活かすとともに地域住民との交流を深め、地域資源を用いたものづくりに意欲的に取り組める若者の力を必要としています。

(3) 体験の内容

・陶芸合宿 (土作りや薪割り、うつわ制作及び地域内活性化施設手伝い、山での日常業務手伝い等)

(4) 受入主体

藤枝市中山間地域活性化推進課

(5) 受入期間

8月 (4泊5日程度)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 一部自己負担 食事代: 自己負担
①要件	芸術系の学部等で「陶芸」と関わりがあり、田舎暮らしに関心のある学生 または「山の生活」に興味があり、身近な素材でものづくりを志す学生
②応募締切り	7月末
③宿泊施設	民泊: 地域おこし協力隊 村上祐仁 (陶芸家) の自宅
④食事形態	村上宅、及び外食
⑤その他	定員1名の合宿を1回予定。志望動機を添えてお申し込み下さい。 詳細はお問い合わせ下さい。

(7) 地域担当者から一言

地域おこし協力隊であり陶芸家でもある村上祐仁とともに、小さな集落の地域資源である「陶芸」を通じた地域おこしに向け、若者のパワーを求めています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 藤枝市	担当部署 産業振興部中山間地域活性化推進課推進係
(ふりがな) こばやし まさこ 担当者氏名 小林 麻佐子	TEL: 054-639-0120 (直通) FAX: 054-648-2755
E-mail: chusankan@city.fujieda.lg.jp	
URL: http://www.	
応募宛先 〒426-0132 静岡県藤枝市本郷 876	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 63 : 静岡県裾野市(人口: 52,711人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR御殿場線 裾野駅下車 徒歩30分・タクシー10分
高速バス JR東京駅八重洲南口～裾野市民文化センター(約1時間40分)前下車 徒歩30分・
タクシー10分

(2) 事業実施の目的等

①里山保全活動を通じて、子ども達の健全な精神、健康な体づくり、また、地域の人々とのコミュニケーションづくりを行う。
②里山を通じて、地域活性化を行う。

(3) 体験の内容

・毎月第1・3日曜日 里山レンジャー(小学生親子)と環境学習体験(9:00～15:00)
・毎週木曜日 森づくり体験(10:00～15:00)
・毎月第2・4日曜日 定例活動 森林ウォーキングコース整備体験(9:00～15:00)
・農業体験(野菜・米作り) 通年行っています(9:00～15:00)
※各活動への参加は1日(1回)でも参加できます。

(4) 受入主体

(5) 受入期間

NPO 法人里山会公文名ファイブ

随時、要相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費:自己負担 宿泊費:自己負担 食事代:自己負担 参加費:無料(活動内容により600円程度)
①要件	里山保全活動(農地・森林保全、環境学習)に興味がある方・大学生(里山を活用した地域活性化事業に興味がある方)・ネイチャーゲームに興味がある方
②応募締切り	活動日1週間前 活動内容は http://web.thn.jp/tukumo22612/ に掲載
③宿泊施設	市内宿泊施設(活動は原則1日のみ)
④食事形態	要相談(活動内容により無料)
⑤その他	活動内容に合った服装(活動内容はホームページ掲載)で参加をお願い致します。活動に必要な道具等は用意します。参加はお一人でもできます。

(7) 地域担当者から一言

裾野市は富士山をはじめとする豊かな自然の中に産業が集積した東京から100km圏内の「特別な田舎」です。多くの方の「里山の思い」を聞かせて頂き少しでも楽しい活動にして行きたいと思えます。是非、当会が行っている里山保全活動に来てみてください。里山レンジャーとお待ちしています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 裾野市	担当部署 企画部 企画政策課
(ふりがな) かわかみ よしのり	TEL:055-995-1804(直通)
担当者氏名 川上 佳紀	FAX:055-995-1861
E-mail:kikaku@city.susono.shizuoka.jp	
NPO 法人里山会公文名ファイブホームページ URL: http://web.thn.jp/tukumo22612/	
裾野市ホームページ URL: http://www.city.susono.shizuoka.jp/	
応募宛先 〒410-1192	静岡県裾野市佐野1059番地

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 64 : 三重県津市^{っし} (人口: 281,745人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄名張駅下車 三重交通バス中太郎生バス停 (所要時間約45分)

(2) 事業実施の目的等

美杉地域における豊かな自然と歴史資源、地域・民間活力を活用し、都市住民に田舎暮らし(宿泊・農業体験・自然散策等)を体験させる「美杉の魅力発見塾」を実施することにより、定住へと繋げることを目指し、地域の活性化・津市の元気づくりの推進を図ることを目的としています。

(3) 体験の内容

- ・農業体験(稲作や野菜・山の収穫等)
 - ・ホタル狩り体験
 - ・美杉木工体験
 - ・フジバカマ畑散策(アサギマダラ観察)
 - ・セラピーロード体験
 - ・田舎こんにやく作り体験
 - ・町歩き(史跡めぐり)
 - ・滝めぐり
 - ・そば打ち体験
- ※体験内容は一例です。

(4) 受入主体

太郎生地域づくり協議会

(5) 受入期間

4月～3月(1年間)
最大2泊3日

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担 (美杉の魅力発見塾による宿泊: お1人様5,000円(食事付))
①要件	直接たろっと三国屋へ「体験でお願いします。」とお申込みください。(要予約) お申込先: 059-273-0001
②応募締切り	水曜日 営業時間10時～16時 営業時間中にお電話でお申込みください。
③宿泊施設	たろっと三国屋(民宿 シャワー設備有)
④食事形態	自己負担 地元食材を活かした食事を提供します。
⑤その他	体験内容は予約時にご相談ください。

(7) 地域担当者から一言

都会の喧騒からしばし離れて、自然豊かな環境に癒され、田舎ならではの体験ができます。地元食材で作られる田舎料理と、ゆっくりとした時間を満喫してください。

(8) お問合せ先

自治体名	津市	担当部署	津市美杉総合支所 地域振興課 地域振興担当
(ふりがな) 担当者氏名	すば まさゆき 須場 督介	TEL: 059-272-8082 (直通) FAX: 059-272-1119	
E-mail	272-8080@city.tsu.lg.jp		
URL	http://www.info.city.tsu.mie.jp/		
応募宛先	〒515-3536 三重県津市美杉町太郎生2046番地4 たろっと三国屋 (電話: 059-273-0001)		

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 65 : 三重県^{たきちょう}多気町 (人口: 約15,000人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

最寄駅: JR多気駅
 所要時間: 名古屋駅から80分

(2) 事業実施の目的等

多気町のファンづくりと、新規就農者募集

(3) 体験の内容

特産物である前川次郎柿と伊勢芋の収穫作業、試食、
 農家(新規就農者、ベテラン)・移住者との食事交流会
 町内紹介、相談会

(4) 受入主体

(5) 受入期間

多気町 農林商工課	10月中を予定(1泊2日)
-----------	---------------

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 参加者負担 宿泊費: 多気町負担 食事代: 多気町負担
①要件	移住や農業に興味ある人
②応募締切り	8月末を予定
③宿泊施設	未定
④食事形態	昼食は2日とも地元レストラン、食事交流会はBBQを予定
⑤その他	農作業ができる服装・靴でお越し下さい

(7) 地域担当者から一言

一度、多気町を体感してみてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 多気町	担当部署 農林商工課
(ふりがな) よしだ たくみ	TEL: 0598-38-1117 (直通)
担当者氏名 吉田 拓未	FAX: 0598-38-1140
E-mail: norin@town.mie-taki.lg.jp	
URL: http://www.town.taki.mie.jp/soshiki_view.php?so_cd1=2&so_cd2=4&so_cd3=0&so_cd4=0&so_cd5=0	
応募宛先 〒519-2181 三重県多気郡多気町相可1600 多気町 農林商工課	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 66 : ^{あやべし} 京都府綾部市 (人口 : 33,306人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR綾部駅に下車後、市営あやバス「綾部駅南口」バス停からあやバス西坂線に乗車、33分間で「かじや」バス停にて下車(綾部市里山交流研修センターは「かじや」バス停すぐ)

(2) 事業実施の目的等

閉校となった小学校舎を再活用した「綾部市里山交流研修センター」を、指定管理者「里山ねっと・あやべ」が都市農村交流と地域振興に役立てています。秋には、地元の祭り「小畑祭り」のお手伝いが可能です。地元の方との交流を楽しみながら、秋の里地里山の空気を満喫してください。

(3) 体験の内容

村祭りのお手伝い(10月) 神輿や獅子舞のお手伝いや記録撮影など

(4) 受入主体

綾部市里山交流研修センター(里山ねっと・あやべ)

(5) 受入期間

2017年10月中旬頃

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担 食事代：自己負担 体験料：自己負担 ※大学ゼミの予算や企業の研修予算など団体予算での参加歓迎
①要件	都市農村交流や里山再生、田舎での持続可能な暮らしに関心のある5名以上のグループ(大学生・大学院生、大学教官、ゼミ旅行、企業のCSR担当部署、里地里山や廃校活用に関心のあるNPO団体など)
②応募締切り	2017年6月末
③宿泊施設	綾部市里山交流研修センター
④食事形態	自炊
⑤その他	最小催行人員5名 上限30名 グループ(ゼミや団体)での参加を優先

(7) 地域担当者から一言

この企画を通じて里山の価値を全身で実感し、地域住民と親しむとともに、綾部という土地の魅力に触れて、綾部の地域再生を担うサポーターになってください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 綾部市	担当部署 定住交流部観光交流課
(ふりがな) ながい なおこ 担当者氏名 永井 直子	TEL : 0773-42-4273 (直通) FAX : 0773-42-4406
E-mail : n-nagai@city.ayabe.lg.jp	
URL : https://ayabesatoyama.net	
応募宛先 〒623-0235 京都府綾部市鍛冶屋町茅倉9番地 綾部市里山交流研修センター 里山ねっと・あやべ (電話) 0773-47-0040 (FAX) 0773-47-0084 (メール) contact@satoyama.or.jp	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

しもきたやまむら
No.- 67 : 奈良県下北山村 (人口: 895人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄吉野線 大和上市駅下車 R169ゆうゆうバス 寺垣内バス停

(2) 事業実施の目的等

- ・地域づくり(村外に住む学生の斬新な発想を、今後の施策に反映し、地域活性化をはかる。)
- ・新規特産品の開発(「下北春まな」などの収穫体験・試食を通じた新規特産品の開発を目指す。)
- ・外部への情報発信力の強化(当村での暮らしを体験した上で、村外への情報発信を期待する。)

(3) 体験の内容

- ・村内の観光名所の見学
- ・特産品づくり(下北春まなのめはり寿司等)
- ・地域住民との交流

(4) 受入主体

下北山村

(5) 受入期間

年2回実施予定 2泊3日
・9月中
・12後半～1月末(年末年始は除く)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 食事代: 自己負担
① 要件	大学生及び大学院生で、自然豊かな生活を体験したい人
② 応募締切り	各実施期間の2週間前
③ 宿泊施設	村内の移住体験施設等
④ 食事形態	村内のレストランで食事
⑤ その他	動きやすい服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

新規特産品の開発・新たな観光資源の開拓・情報発信力の強化など、若い方の斬新な発想が必要です! 下北山村の未来のために是非力を貸してください!

(8) お問い合わせ先

自治体名 奈良県下北山村	担当部署 地域創生推進室
(ふりがな) なか れいり 担当者氏名 仲 怜里	TEL: 07468-6-0001 (代表) FAX: 07468-6-0377
E-mail: chiiki@vill.shimokitayama.nara.jp	
URL: http://www.vill.shimokitayama.nara.jp/	
応募宛先 〒639-3803 奈良県下北山村大字寺垣内983	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- **68** : ^{かわかみむら}**奈良県川上村** (人口: 1, 313人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄電車吉野線 大和上市駅下車 やまぶきバス、(又はスマイルバス、ゆうゆうバス)
川上村役場前下車
所要時間: 大和上市駅よりバスで約30分

(2) 事業実施の目的等

都市部の若者に体験機会を提供し、川上村の取り組みについて提案・提言をしてもらい村づくりに活かしていきたい。
終了後も川上村の応援団として村づくりに関わってもらいたい。

(3) 体験の内容

地場産業(林業等)の体験 盆踊り等地域のイベントへの参加、手伝い
地域住民、役場職員、林業家、芸術家等との交流等
※体験内容はできる限り参加者の意向に沿って組み立てます。

(4) 受入主体

川上村

(5) 受入期間

8月10日(木)～8月23日(水)
14日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 食事代: 自己負担※費用相当分の補助あり
①要件	地域づくりに興味のある方
②応募締切り	平成29年6月2日(金)(定員を超えた場合は審査を行います) 指定の参加申込書及び小論文(HP参照)を下記応募先まで郵送して下さい。
③宿泊施設	村宿泊施設 (共同生活)
④食事形態	自己負担(自炊、弁当など)
⑤その他	川上村ホームページをご覧ください。 詳細は担当者にお問い合わせください。

(7) 地域担当者から一言

川上村は奈良県の南東部に位置し、紀の川(吉野川)の源流にあたる水源地の村です。
過疎地域における行政の取り組みや地域づくり、林業や環境教育などに興味がある方はぜひご参加ください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 川上村	担当部署 水源地課
(ふりがな) よしだ しほ 担当者氏名 吉田 志帆	TEL: 0746-52-0111 (内線) 21 FAX: 0746-52-0345
E-mail: suigenchi@vill.nara-kawakami.lg.jp	
URL: http://www.vill.kawakami.nara.jp/	
応募宛先	〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335-7 川上村役場水源地課

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 69 : 和歌山県有田市 (人口: 29,250人)
ありだし

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR紀勢線箕島駅下車 徒歩10分→有田市役所

(2) 事業実施の目的等

就職活動時の選択肢にほとんどない、みかん農業の一部を体験して、興味をもってもらおう。

(3) 体験の内容

農業体験(有田みかんの収穫及び農作業)一泊二日

(4) 受入主体

有田市
有田市農業士会

(5) 受入期間

10月中旬～11月上旬
上記期間中の土日2日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 市で負担 食事代: 市で負担
① 要件	20歳以上
② 応募締切り	8月31日
③ 宿泊施設	市内宿泊施設
④ 食事形態	昼食・夕食(懇親会の場合自己負担)・朝食・昼食
⑤ その他	定数6名

(7) 地域担当者から一言

日本一おいしい有田みかんを収穫してその場で食べてみて下さい。きっと衝撃が走ります。

(8) お問い合わせ先

自治体名 有田市	担当部署 経済建設部有田みかん課みかん農政係
(ふりがな) なかい たかゆき 担当者氏名 中井 貴之	TEL: 0737-83-1111 (内線) 261 FAX: 0737-83-3108
E-mail: nakai_t01@city.arida.lg.jp	
URL: 特になし	
応募宛先 〒649-0392 和歌山県有田市箕島50	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 70 : 和歌山県田辺市^{たなべし} (人口: 76,509人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR紀伊田辺駅下車 徒歩10分

(2) 事業実施の目的等

将来、漁業の担い手として当市への定着・就業を考えている方を対象に、漁業を体験してもらう中で、当市の魅力を感じてもらうこと

(3) 体験の内容

面談(受け入れ漁協・講師)
漁業乗船(漁の準備から後片付けまで研修)

(4) 受入主体

田辺市水産振興会

(5) 受入期間

4月1日～2月末日まで

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
①要件	15歳以上50歳未満の方(未成年の場合は保護者の同意が必要) 真剣に漁業に就業したいと考え、専業での漁業就業を目指す方
②応募締切り	2月末日 指定の申込書及び市販の履歴書(写真添付)を事務局まで送付してください
③宿泊施設	
④食事形態	各自ご用意ください
⑤その他	着替え、タオル、カップ、長靴、軍手、弁当、飲み物など準備してください

(7) 地域担当者から一言

漁業を職業として、地域に定着しようとする方にきっかけを提供します

(8) お問い合わせ先

自治体名 田辺市	担当部署 産業部 水産課 水産係
(ふりがな) なす とよひさ 担当者氏名 那須 豊久	TEL: 0739-26-9932 (直通) FAX: 0739-22-9898
E-mail: suisan@city.tanabe.lg.jp	
URL: http://www.city.tanabe.lg.jp	
応募宛先 〒646-8545 和歌山県田辺市新屋敷町1番地 田辺市役所水産課(田辺市水産振興会事務局)	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 71 : ^{きみのちょう} 和歌山県紀美野町 (人口: 9, 381人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR きのくに線海南駅から大十オレンジバス終点登山口下車、(乗換え)紀美野町コミュニティバスで国吉診療所へ 海南駅から登山口まで約 30 分、登山口から国吉診療所まで約 25 分

(2) 事業実施の目的等

過疎化・高齢化が進む紀美野町が元気になるように
 里山体験交流施設「セミナーハウス未来塾」が活気づくように
 一緒に汗をかきながらアイデアを注入してくれる皆さんを募集します。

(3) 体験の内容

①セミナーハウス未来塾のお仕事全般 ②自然体験・野外活動等の企画、サービス提供
 ③(1泊2日)夏休みイベントの企画と提供 ④里山の情報発信 ⑤セミナーハウス未来塾および
 周辺町有林の保全 ⑥セミナーハウス未来塾のホスピタリティーマネージメントに触れられる

(4) 受入主体

紀美野町セミナーハウス未来塾
 (<http://www.kimino.jp/miraijuku/>)

(5) 受入期間

8月1日(火)～8月20日(日)の
 2週間程度(出来る限り8/15,16を含むように)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：食事形態を参照
①要件	○仲間と話し合ってアイデアを出し一緒に行動できる人 ○健康で自然が好きな人
②募締切り	2017年7月22日(土)必着
③泊施設	セミナーハウス未来塾
④事形態	滞在期間中は賄い料理を提供(提供できない場合はみんなで自炊)
⑤その他	質問などがあれば、遠慮なくセミナーハウス未来塾に電話かメールください 応募人数に達したらお断りすることがあります

(7) 地域担当者から一言

大自然の山里で心を込めた精一杯の接客経験と
 自らのアイデアで過疎化の地域が活性化する体験が得られますよ！

(8) お問い合わせ先

自治体名 和歌山県紀美野町	担当部署 紀美野町セミナーハウス未来塾
(ふりがな) ひらい つぐじ 担当者氏名 平井 二嗣	TEL : 073-498-0521 (直通) FAX : 073-498-0531
E-mail : s-miraijuku@kimino.jp	
URL : http://www.kimino.jp/miraijuku/	
応募宛先 〒604-1363 和歌山県海草郡紀美野町田 25	紀美野町セミナーハウス未来塾 (平井宛)

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 72 : ^{ひろがわちよう}和歌山県広川町 (人口: 7, 224人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR きのくに線 湯浅駅下車 御坊南海バス 落合バス停下車 徒歩 5分
 阪和自動車道 広川 IC 下りて約 5分

(2) 事業実施の目的等

広川町をより多くの人に知っていただきたい。一緒になって活動することによりさらに地域を知っていただきたい。なおかつ学生のフレッシュな意見を聞き入れ、取り入れたい。

(3) 体験の内容

- ・花畑の手入れ
- ・自然公園の整備
- ・イベント等の企画、お手伝い
- ・農作業(薬草栽培)等のお手伝い

(4) 受入主体

広川町
 (津木地区寄合会、広川を愛する会)

(5) 受入期間

7月 ~ 10月
 3~5日程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担
① 要件	人・自然・田舎が好きな大学生・大学院生(できれば運転免許を持っている人)
② 応募締切り	滞在希望日の1ヶ月前まで
③ 宿泊施設	青少年の家、農家民泊
④ 食事形態	自己負担(基本的に自炊)
⑤ その他	宿泊費用は青少年の家(一泊200円)、農家民泊(一泊3,000円)程度

(7) 地域担当者から一言

広川町では若く活力あふれる学生のアイデアや力を待っています。地域の人と共に汗を流し一緒に地域づくりをしませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名	広川町	担当部署	総務政策課 地域強靱化対策班
(ふりがな)	なかやまゆう	TEL: 0737-23-7731	(直通)
担当者氏名	中山 友	FAX: 0737-62-2407	
E-mail	kikaku4@town.hirogawa.wakayama.jp		
URL	http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/		
応募宛先	〒643-0071 和歌山県有田郡広川町広1500		

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ありだがわちょう

No.- 73 : 和歌山県有田川町 (人口: 27, 130人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR紀勢本線(きのくに線)藤並駅下車、路線バスで約50分
阪和自動車道「有田IC」下りて約50分

(2) 事業実施の目的等

伝統工芸である手漉き和紙「保田紙」を伝承し、和紙の風合いを活かした商品のアイデアを出していただきたい。保田紙とこの町のシンボルである棚田「あらぎ島」を関連させたPRを行い、この地の魅力を発信していく提案をいただきたい。地域に馴染み定住者の増加を期待したい。

(3) 体験の内容

手漉き和紙「保田紙」の製造(紙漉き)を体験
1月中旬~2月初旬は紙の原料である「楮」の収穫と紙素作りの作業

(4) 受入主体

有田川町(施設: 体験交流工房わらし)

(5) 受入期間

通年(1日~連続5日程度) ※要事前相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 宿泊費: 食事代:	} 自己負担
① 要件	田舎や人とのふれあいが好きな方。この地の歴史、田舎暮らしに興味がある方。	
② 応募締切り	随時受け付けていますが、事前(2週間前ぐらい)に要問い合わせ	
③ 宿泊施設	紹介可能(近隣の宿泊施設、農家民泊)	
④ 食事形態	各自	
⑤ その他	作業ができる服装(水を使う作業ですので着替えがあると便利)	

(7) 地域担当者から一言

この地域は「ぶどう山椒」生産量日本一を誇る中山間地域です。保田紙は380年の歴史ある和紙ですが、保田紙製造をきっかけとして若い意欲ある学生の視点から、地域活性化のアイデアをもらいたいと期待しています。田舎暮らしに興味のある方大歓迎です。

(8) お問い合わせ先

自治体名 有田川町	担当部署 産業振興部 清水行政局 産業振興室
(ふりがな) ふくもと やすよ 担当者氏名 福本 泰代	TEL: 0737-52-2111 (直通) 83-113 (内線) FAX: 0737-25-9005
E-mail: s.sangyoshinko@town.aridagawa.lg.jp	
URL: http://www.town.aridagawa.lg.jp/	
応募宛先 〒643-0521 和歌山県有田郡有田川町清水387-1	有田川町役場 清水行政局 産業振興室

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 74 : なちかつうらちょう 和歌山県那智勝浦町 (人口: 15,977人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 紀勢線 紀伊勝浦駅下車 町営バス色川線 大野口バス停下車

(2) 事業実施の目的等

若者が地域の現状や課題に触れ、外部の人間として地域に関わる意味について検討を行う。そして、地域と若者の相互が理解を深め、「地域のこれから」を描き得る関係を築く。

(3) 体験の内容

- ・農作業体験 (有機栽培による稲作・野菜作り) ・地域行事への参加サポート (伝統的祭り等)
- ・田舎暮らし体験 ・地域サポート人体験 (地域おこし協力隊研修)
- ・狩猟、獣害対策体験 ・林業体験
- ・その他様々な地域活動のサポート、体験等あり

(4) 受入主体

那智勝浦町 (色川地区)
色川地域振興推進委員会

(5) 受入期間

通年 (応相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 (1泊1,500円~) 食事代: 自己負担
①要件	大学生及び大学院生、社会人等能動的に行動できる若者
②応募締切り	体験希望日の10日前まで
③宿泊施設	籠ふるさと塾 (公共研修施設)、その他民泊
④食事形態	基本自炊 (食材の提供は可能)
⑤その他	作業のできる服装をご用意ください。 雨天時は雨具が必要となります。(合羽や長靴等)

(7) 地域担当者から一言

色川地区は那智勝浦町の山間に位置し、人口約350人の地区で、9つの集落から成り立っています。移住者受け入れの歴史も古く、今では住民の半数近くが移住者となっています。先祖代々の営みと移住者の営みが折り重なり、今の色川地区を形作っています。そのような誇るべき「暮らし場」を体験してみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 那智勝浦町	担当部署 色川出張所
(ふりがな) おおにし しゅんすけ 担当者氏名 大西 俊介	TEL: 0735-56-0101 (直通) FAX: 0735-56-0101
E-mail: support@wakayama-irokawa.com	
URL: http://wakayama-irokawa.com	
応募宛先 〒649-5462 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大野 2228-1	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 75 : ^{いばらし} 岡山県井原市 (人口: 41,613人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

井原鉄道 井原駅
 ※井原駅から車で約30分

(2) 事業実施の目的等

地域住民と都市住民との交流により、地域住民が地域の宝を再認識するとともに元気ももらい、地域活性化に向けた意識の高揚を目的としています。

(3) 体験の内容

農業体験交流事業“池井の恵み「いただきまーす」”
 地域住民の日常的な農作業等を題材とした、イベントを行います。
 ・農業体験(芋植え、芋掘り)
 ・しめ飾り作り など

(4) 受入主体

池井地区地域運営協議会

(5) 受入期間

6月中旬、10月中旬、12月中旬
 それぞれ半日程度実施

(6) 応募上の注意

※費用負担	参加費: 1,500~2,000円程度 現地までの交通費: 自己負担 食事代: 参加費に含む
①要件	自然・田舎が好きな人、人とのふれあいが好きな人
②応募締切り	イベント実施日の1~2週間前
③宿泊施設	
④食事形態	イベント実施日の昼食のみ、地域にて用意
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

自然の中で汗を流してリフレッシュしたい、農作業を体験してみたいという方におすすめです。自分で育てた芋などの農産物を、あなたも味わってみませんか?

(8) お問い合わせ先

自治体名 井原市	担当部署 建設経済部地域創生課地域創生係
(ふりがな) ふじかわ あきら 担当者氏名 藤川 晃	TEL: 0866-62-8850 (直通) FAX: 0866-62-8853
E-mail: sousei@city.ibara.lg.jp	
URL: http://space.geocities.jp/chisei20080709/index.html	
応募宛先 〒715-0014 岡山県井原市七日市町10番地 井原市地場産業振興センター2階	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 76 : 岡山県新見市^{にいみし} (人口: 30,768人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 伯備線新郷駅

(2) 事業実施の目的等

木材材価の低迷、林業従事者の減少・高齢化等により、市内の森林施業の実施は年々困難になり、間伐等の保育作業を緊急に必要とする人工林が増加している状況下において、大学生等の協力のもと、山林の保育活動の推進を図ることに加え、森林の持つ公益的機能等の重要性について学んでもらうことを目的とする。

(3) 体験の内容

- ・ 間伐等の森林整備体験
- ・ 他大学学生との共同生活体験

(4) 受入主体

(一社) 人杜守 (ひとともり)

(5) 受入期間

前期: 平成29年9月1日(金) ~
平成29年9月14日(木) 14日間
後期: 平成30年2月28日(水) ~
平成30年3月9日(金) 10日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 主催者負担 食事代: 自己負担 機械整備代: 2,500円
①要件	心身ともに健康な18才以上の男女(募集定員20名程度)
②応募締切り	前・後期とも開催の20日前まで
③宿泊施設	神郷温泉(新見市神郷高瀬3188-1)
④食事形態	自炊(参加した学生が協力して自ら調理を行う)
⑤その他	保険等は主催者負担で加入します。全日、数日参加ともに可能です。

(7) 地域担当者から一言

- ・ チェンソーを使用しての森林整備等、他の森林ボランティアにはない取り組みができ、貴重な体験をすることができます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 新見市役所	担当部署 産業部 農林課 林業振興係
(ふりがな) いなむら きみたか 担当者氏名 稲村 公孝	TEL: 0867-72-6134 (直通) FAX: 0867-72-6181
E-mail: kimitaka-inamura@city.niimi.okayama.jp	
URL: http://www.	
応募宛先 〒718-8501 岡山県新見市新見310-3 新見市役所 産業部 農林課	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 77 : 山口県宇部市^{うべし} (人口: 168,257人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR山陽本線 宇部駅下車 船木鉄道バスで約30分

(2) 事業実施の目的等

- ・中山間地域の魅力を感じて欲しい
- ・若い人の意見を聞きたい、取り入れたい

(3) 体験の内容

- ・農業体験
- ・地域イベント(吉部ほたるまつり)への協力と参加
- ・若い世代から見た中山間地域活性化への提言

(4) 受入主体

農業研修交流施設「万農塾」(宇部市万倉地区)
夢ゆめクラブ吉部の郷(宇部市吉部地区)

(5) 受入期間

6月1日(木)～6月4日(日)
4日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 自己負担 食事代: 自己負担(ただし3日の夕食のみ提供)
① 要件	農業、中山間地域に興味がある方
② 応募締切り	5月18日(木)までに担当者へメール等でご連絡ください
③ 宿泊施設	農家民泊、市施設
④ 食事形態	各自用意(ただし3日の夕食のみ提供)
⑤ その他	作業ができる服装を用意してください

(7) 地域担当者から一言

自然と地域資源豊かな中山間地域での生活や農作業を体験し、地域住民と一緒に地域イベント(吉部ほたるまつり)を運営してみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇部市	担当部署 北部地域振興課
(ふりがな) たけだ なおふみ 担当者氏名 武田 尚文	TEL: 0836-67-2812 (直通) FAX: 0836-67-2158
E-mail: chiiki@city.ube.yamaguchi.jp	
URL: http://www.city.ube.yamaguchi.jp/soshiki/hokubu_chiiki/index.html	
応募宛先 〒757-0292 宇部市大字船木字東番田 365 番地 1	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 78 : ^{ながとし} 山口県長門市 (人口: 35, 557人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR山陽新幹線 新山口駅又は厚狭駅下車	JR美祢線 長門湯本駅下車
サンデnbバス 長門湯本駅ー俵山公民館前	20分

(2) 事業実施の目的等

都市部で暮らす若者を受入れ、地域住民との交流を通じて、若者から見た地域評価をいただくことにより、地域活性化を図るとともに、地域の特色を活かした体験交流プログラムの開発を行なうことを目的とする。

(3) 体験の内容

- ・ 農作業体験や集落点検調査の実施
- ・ 公民館活動への参加 (地域住民との交流、スポーツ活動、地域の祭り等)
- ・ 日帰り入浴施設、旅館等での接客体験
- ・ 地域づくりの広報宣伝活動に参加 (情報誌、ホームページ、フェイスブック等) 等

(4) 受入主体

NPO法人 ゆうゆうグリーン俵山

(5) 受入期間

8月 月上旬 ~ 8月 下旬
14日間程度 (詳細は参加学生と調整)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 受入費用: 3万円 (宿泊費・食事代・保険代・作業費込み)
①要件	都市と農村の交流 (グリーンツーリズム) に興味のある方
②応募締切り	平成29年 7月 3日 (月) 必着
③宿泊施設	温泉旅館とホームステイの併用
④食事形態	原則として、宿泊先で用意します。(費用負担は受入費用に含む)
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

受入主体となるNPO法人は、地域住民と協力して、地域の活性化に取り組んでいます。あなたも、俵山地域の人と交流し、体験を通して地域の事を知り、あなたの若い発想力で、この地域が活性化するための提案をしてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名	山口県 長門市	担当部署	企画総務部 企画政策課 企画調整係
(ふりがな)	むつだ まさひろ	TEL:	0837-23-1229 (直通)
担当者氏名	睦田 尚玄	FAX:	0837-22-0135
E-mail:	chosei@city.nagato.lg.jp		
URL:	http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/ http://tawarayama.jp/		
応募宛先	〒759-4192 山口県長門市東深川1339番地2		

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 79 : ^{かみかつちょう} 徳島県上勝町 (人口: 1, 616人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

上勝町営バス「温泉入口」バス停

(2) 事業実施の目的等

移住者の増加
 上勝町のファンづくり

(3) 体験の内容

☆上勝町の仕事と生活を体験する
 仕事内容…農作業(彩・香酸柑橘・茶・各種野菜・米など)、町内事業所での業務(NPO・移住者による新規企業など)
 生活…ごみの45分別、町内行事・祭り・イベント等への参加や手伝い

(4) 受入主体

株式会社いろどり

(5) 受入期間

通年で募集(※詳細は会社HPに記載)

(6) 応募上の注意

※費用負担	上勝町までの往復交通費および町内移動交通費 滞在期間中の食費、イベント等参加費など(※任意) その他参加費等(※詳細は会社HPに記載)
① 要件	特に必要とされる資格・能力はありません。上勝町で学びたい、自分自身を成長させたいという意欲を持った方のみ受け入れます。
②応募締切り	参加希望日の一ヶ月前まで
③宿泊施設	研修者用宿泊施設(シェアハウス)
④食事形態	基本的には自炊(調理設備・器具等は宿舎に完備。食材は自己負担)
⑤その他	申込受付後、書類審査と電話・スカイプ面接にて選考を行う

(7) 地域担当者から一言

上勝町は葉っぱビジネス・ゼロウェイスト等の取り組みによって過疎地域の先進事例となりました。しかし人口減少や産業の不足等多くの課題も同時に抱えています。町として生き残りをかけた闘いに、第三者としてではなく一緒にチャレンジする仲間を探しています。

(8) お問い合わせ先

自治体名 徳島県上勝町	担当部署 株式会社いろどり インターンシップ事業部
(ふりがな) あいはら けいご 担当者氏名 栗飯原 啓吾	TEL : 0885-46-0166 (直通) FAX : 0885-46-0577
E-mail : aihara@irodori.co.jp	
URL : http://www.irodori.co.jp/	
応募宛先 〒771-4501 徳島県勝浦郡上勝町大字福原字平間 71-5	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 80 : ^{みなみちょう} 徳島県美波町 (人口: 7, 114人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR牟岐線 日和佐駅下車 徒歩15分

(2) 事業実施の目的等

地域づくりや地域活性化の取り組みに関心を持ち、美波町が取り組む種々の施策に参画を希望する若者を迎え入れ、地域での様々な取り組み、各種交流事業等に関わってもらうことで地域や地域住民の刺激とするほか、体験終了後は美波町のサポーターとして町や地域との良い関係を構築してもらうことを期待します。

(3) 体験の内容

- ・地域の漁業、農業体験
- ・地域での滞在及び地域内各種行事等への参加及び交流
- ・うみがめ博物館でのうみがめ飼育の手伝い
- ・地域主導の都市・地域間の交流事業への参加

(4) 受入主体

美波町

(5) 受入期間

7月下旬～8月下旬での1泊15日を予定
※参加学生の方と相談し日程を決定します。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：美波町負担（最寄りターミナル駅もしくは空港から美波町まで） 宿泊費：美波町負担 食事代：「④食事形態」のとおり
① 要件	・地域づくり、観光振興に興味のある方 ・体験最終日に体験発表会及び、終了後レポートの提出（広報「みなみ」に掲載します。）
② 応募締切り	平成29年6月15日（※当日消印有効） ※別添募集参加申込書・小論文記入用紙に記載の上、担当まで郵送。
③ 宿泊施設	ホームステイ、宿泊施設（国民の宿）、美波町体験活動施設、各地区交流体験施設を予定
④ 食事形態	原則：朝・昼・夕食は自炊等自己負担 ※ホームステイ・国民の宿の朝夕食は提供予定（美波町負担）。
⑤ その他	・申込前に担当までご連絡ください。 ・動きやすく、汚れてもいい服装が必要です。

(7) 地域担当者から一言

美波町は、徳島県東南部に位置し、海・山・川の自然豊かな町です。そんな町の新しい地域資源を共に発見しましょう。地域づくり活動も盛んな地域ですので、是非若い方の活力を美波町に！不明な点等があれば事前にご連絡をください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 美波町	担当部署 総務企画課
(ふりがな) ニガチヒゲキ 担当者氏名 西口 英樹	TEL : 0884-77-3611 (直通) FAX : 0884-77-1666
E-mail : somu@minami.i-tokushima.jp	
URL : http://joruri.minami.i-tokushima.jp	
応募宛先 〒779-2395 徳島県海部郡美波町奥河内字本村18番地1	

若者の地方体験交流 募集概要
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 81 : 愛媛県^{うちこちょう}内子町 (人口: 17, 129人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 内子駅から車で 20 分

(2) 事業実施の目的等

都市交流により泉谷棚田の景観や保全意義を PR する。後継者の定住のため、交流事業を地域経営の柱として捉え、未来へ泉谷棚田の景観を継承する。

(3) 体験の内容

棚田農作業体験 (棚田景観保全のための草刈りなど)

(4) 受入主体

泉谷地区棚田を守る会

(5) 受入期間

4月～10月の内、随時募集

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：実費 宿泊費：4,000 円/人【1泊2日】 食事代：上記込み
①要件	各回 1グループでの参加 定員 5名
②応募締切り	随時予約 先着順に日程調整 (詳細未定)
③宿泊施設	泉谷宿泊交流施設 (施設名称は未定 2017年3月完成)
④食事形態	基本 BBQ (内容は出来高による) 自炊も可
⑤その他	長靴・作業用衣類・着替えなど

(7) 地域担当者から一言

棚田景観保全のため年8回必要な地元の草刈り負担を軽減するためのお手伝い企画です。実施初年度につき実施後、価格・内容が変更されることがあります。
 ~美しい棚田の夕景の中で最高の一杯を飲む~

(8) お問い合わせ先

自治体名 内子町	担当部署 町並・地域振興課 GT係
(ふりがな) 担当者氏名 稲月 道隆	TEL: 0893-44-2118 (直通) FAX: 0893-44-2157
E-mail: machinami@town.uchiko.ehime.jp	
URL: https://www.facebook.com/misoginogururi/ . Facebook「御祓のぐるり」	
応募宛先 〒791-3301 愛媛県喜多郡内子町内子 1515 内子町町並地域振興課内 泉谷地区棚田を守る会事務局	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 82 : 愛媛県^{まつのちょう}松野町 (人口: 4, 135人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

松野町役場まで JR予土線松丸^{よどせんまつまるえき}駅下車徒歩3分、宇和島自動バス虹の森公園前行き松野町役場前下車すぐ

(2) 事業実施の目的等

学生の皆さんには、地域住民との交流を通じ、松野町の魅力を知ってもらいたいと考えています。また、本町が進めるまちづくりに対する評価・提言を行っていただき、実践や意見交換を通じて地域の活性化を図ることを目的とします。

(3) 体験の内容

農業体験・・・特産品の桃や柚子の収穫作業など
観光施設での活動・・・道の駅及び森の国ホテル等での研修、観光ツアーガイド育成プログラム
地域内実践者による指導のもと地域資源を活かした様々なまちづくりの取組を体験します。また外から見た本町の魅力を発見していただき、まちづくりへの評価・提言を行ってください。事業終了後、レポートによる提言の提出及び町長や関係者を交えた報告会を開催します。

(4) 受入主体

松野町



(5) 受入期間

○農業：4～5月(桃の袋掛け)、6～7月(桃の収穫)、10月～11月(柚子の収穫)
○観光：随時(道の駅及び森の国ホテル等での研修)
※1週間～2ヶ月の滞在可能、ゼミ合宿等も受け入れます。

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：受入れ農家、公共施設 食事代：自己負担
① 要件	まちづくりに興味のある方
② 応募締切り	随時
③ 宿泊施設	受入れ農家及び公共施設
④ 食事形態	受入れ農家等での提供
⑤その他	民泊に必要なもの、動きやすい服装

(7) 地域担当者から一言

「小さな町の大きな挑戦」をスローガンに地域資源を最大限に活かしたまちづくりに取り組んでいます。松野町は県内最小人口の自治体です。あなたの提言が町の施策に反映される可能性大です！

(8) お問い合わせ先

自治体名	松野町	担当部署	森の国創生課商工観光グループ
(ふりがな)	いしかわ れいこ	TEL	: 0895-42-1116 (直通)
担当者氏名	石川 玲子	FAX	: 0895-42-1119
E-mail	: r-ishikawa@town.matsuno.ehime.jp		
URL	: http://www.town.matsuno.ehime.jp/		
応募宛先	〒798-2192 愛媛県北宇和郡松野町大字松丸 343 番地 松野町役場森の国創生課		

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 83 : 長崎県対馬市 (人口: 31,798人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・博多港からフェリーで4時間30分(厳原航路)、5時間40分(比田勝航路)、博多港からジェットfoilで2時間15分(厳原港) ※韓国・プサンからの国際航路あり
- ・福岡空港あるいは長崎空港から飛行機で約35分

(2) 事業実施の目的等

「学びの力を地域に、地域の力を学びに」。地域おこしへの理解促進と地域おこしの担い手育成を行うとともに、参加者との交流・実践作業を通じて地域を元気にするため、学生のみなさんのフィールドワーク(実習や調査研究等)を積極的に受け入れています。

(3) 体験の内容(主に3つのプログラムをご用意)

- ア)「対馬市島おこし実践塾」: 全国各地の学生、地元高校生が集い学び合う実践形式の短期合宿です(8月下旬~9月上旬の間の4泊5日)。地域の現状を知りたい、地域おこしのあり方等を学びたい。地域に飛び込むきっかけ・入門編としてオススメです。
- イ)現場学「学生実習」: 数週間~数ヶ月間、現地に滞在し、具体的な地域実践活動(教育や行政、環境・産業(起業)・建築等)を通じて、現場で求められる考え方・スキル等を身に付けます。
- ウ)「フィールド研究」: 対馬をフィールドに調査研究に取り組む学生をサポート。協力者や情報提供のみならず、調査研究に要する経費補助制度もあります(公募審査制)。

(4) 受入主体

対馬市
(九州と朝鮮半島の間には浮かぶ国境離島です)

(5) 受入期間

平成29年7月~平成29年3月頃
(※プログラムにより受入期間や滞在日数は異なります)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担(※島内送迎は受入側対応) 宿泊費: 受入側負担(予定) 食事・保険等: 自己負担 ※講師代・指導料等は主催者負担
①要件	大学・専攻・学年など不問。地域の方々と積極的にコミュニケーションを取りながら現場で学びたい学生を歓迎します
②応募締切り	平成29年4月~7月中に募集予定
③宿泊施設	ア) 民家へのホームステイ、イ) 域学連携活動・滞在拠点施設等、ウ) 各自で手配
④食事形態	ア) 地区の方々による炊き出し等、イ) 自炊、ウ) 自炊等
⑤その他	平成29年度の募集の詳細は4~7月中に「対馬市域学連携ポータルサイト」に掲載します。ア) は参加費として1万5千円が必要となります(宿泊費・食費込)

(7) 地域担当者から一言

みなさんはなぜ地域に関心があり、何のために地域おこしをしたいのでしょうか。地域とは何か、ふるさととは何か。地域おこしを行う上で何が大切なのか、何を守るべきなのか。それは地域の方々との交流しながら、見て聞いて体験してみないと分かりません。現代社会は、人として大切なことを見落としがちです。人が温かく人情あふれる対馬は、その大切なことを気付かせてくれます。地域おこしの根本・あり方を学びたい学生のみなさん、お待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名: 対馬市	担当部署: しまづくり推進部 市民協働・交通対策課
(ふりがな) 担当者氏名 域学連携担当 前田 剛	TEL: 0920-53-6111 (代表) 内線: 473 FAX: 0920-53-6112 (代表)
E-mail: ikigaku@city-tsushima.jp	
URL: 域学連携ポータルサイト	http://fieldcampus.city.tsushima.nagasaki.jp/
応募宛先 〒817-8510	長崎県対馬市厳原町国分1441番地

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 84 : 熊本市宇城市(旧松橋町) (人口: 60, 226人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR鹿児島線 熊本駅 又は 熊本空港から自家用車で約40分～50分
最寄りのJR鹿児島線 松橋駅から徒歩20分、タクシーで約5分

(2) 事業実施の目的等

若い世代に“市民手づくり”のイベントを体験できる機会を提供する事で、「行政頼りではなく、地域の課題は自分たちで解決する」という意識の醸成や人の繋がりを作り、地域の中にどんどん入って行き、活動する楽しさを学んで欲しいため。特に来年度は、10周年の大会でもあり、熊本地震からの「創造的な復興」を地域住民が自ら進めて行く、第一歩となるイベントとしたいと考えており、全国の皆さんとも一緒に作り上げていきたい。

また、震災からの復興や学生連携、情報発信等、地域を盛り上げる手段と一緒に語り合う事で、自分たちの地域の復興や活動もイベント自体も、更に発展していきたいと考えたため。

(3) 体験の内容

- ・会場に展示する「竹灯ろう」製作体験(竹加工・装飾)
- ・イベントスタッフ参加(高校生製作のステージや子どもたち製作の灯籠の設置、運搬、片づけ)
- ・次回開催時のアイデアと一緒に企画・立案(次年度にアイデアを活かした取組を実施予定)
- ・「震災復興」や学生連携、情報発信についてのワークショップ開催

(4) 受入主体

(5) 受入期間

うきあかり実行委員会

10月～11月にかけての土日(1泊2日～2泊3日程度)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料(民泊)※各家に分泊となる場合もあります。 食事代：無料
①要件	住民と一緒にイベントを楽しめる人。「こんなことをすれば面白いのに」、「こんなこと出来れば良いなあ」という思いを持っている人。
②応募締切り	10月中旬頃までに連絡
③宿泊施設	宇城市内のうきあかり実行委員会メンバー宅での民泊
④食事形態	民泊先で、家族と一緒に自炊。朝食は自炊又はお弁当。
⑤その他	市民手づくりイベント「うきあかり」を一緒に盛り上げましょう!

(7) 地域担当者から一言

「うきあかり」は、本市の各地域づくり団体や保育園等の教育機関、地元高校生ボランティアを中心に「市民手づくり」で開催しているイベントで、今年は記念すべき10周年です。数千点の手作り灯ろう展示だけでなく、地元高校生のファッションショーなど、大変な賑わいを見せています。中心となっている各団体は、熊本地震の際にも、それぞれの地域で連携しながら様々な支援活動を行ってまいりました。地元住民が自ら作る地域活性化・一体化の為の取組をぜひ一緒に体験して下さい!

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇城市(うきし)	担当部署 企画部 地域振興課 地域振興係
(ふりがな) てらだ よしまさ	TEL: 0964-32-1906(直通)
担当者氏名 寺田 宜正	FAX: 0964-32-2222
E-mail: chiikishinkoka@city.uki.lg.jp	※件名に「若者の地方体験交流」と記載ください
URL: http://www.city.uki.kumamoto.jp/	(宇城市役所)
https://ja-jp.facebook.com/Ukiakari	(うきあかり)
応募宛先 〒869-0592	
熊本市宇城市松橋町大野85 宇城市役所 企画部 地域振興課	

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 85 : 熊本市宇城市(旧小川町) (人口: 60, 226人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

受入主体の宇城市(旧小川町)

① JR鹿兒島本線 小川駅(JR熊本駅~小川駅: 20分)から徒歩30分

② 阿蘇くまもと空港⇒各種バス⇒高速バス停「益城インター口」⇒高速バス停「氷川高塚」⇒徒歩40分

(2) 事業実施の目的等

- ・高齢化し、寂しくなりつつある商店街に若者の新しい息吹を入れる。若い世代や他所の方のセンスや考え方を、今後の地域づくりに生かし、本事業以後も進展状況等の相談・連絡を取られるような繋がりを作る。
- ・廃屋を改修した古民家「塩屋」がスタッフの高齢化もあり、維持管理が難しくなっているため、若い世代と一緒に、次の世代へ繋げていく取組を行う。

(3) 体験の内容

- ・築110年になる商家(古民家)の「屋根の修繕」と「庭園造り体験」
※古民家「塩屋」: 明治39年(1906年)に建てられた土蔵白壁の商家
- ・塩屋を拠点に活動する地元のお母さんたちとの創作料理作り・伝統料理体験
- ・地元住民や子どもたちとの地域づくり談義

(4) 受入主体

(5) 受入期間

風の館・塩屋

通年(3泊4日)

※一度に5~10人

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 食事代: 原則無料(料理体験費用として、1人3泊で500円程度)
①要件	・古民家に興味があり、土いじりや簡単な修繕を楽しめる人 ・地元の元気な“パワフル”お母さんたちや田舎料理に興味がある人 ・3泊可能な人
②応募締切り	随時。(簡単な自己PRをメールにて送ってください。)
③宿泊施設	風の館・塩屋(古民家で寝泊まりします。)
④食事形態	・塩屋内のピザ釜(地域の子どもたちと製作)で石窯ピザや石窯パン作り体験 ・煮しめなど地元のお母さんたちと地域の伝統料理や創作料理作りを体験 自分で体験し、作った手料理を味わいます。
⑤その他	火鉢など、昔ながらの暖房器具はありますが、冬場は寒いので暖かい恰好で入浴できます。

(7) 地域担当者から一言

風の館・塩屋は、平成10年に地元小川町の女性グループ「風の会」が改修した古民家です。風の会はこの蘇った塩屋を中心に、地域のボランティアや商工会と地域全体の振興を考えたイベントや活動を続けてきました。現在では、元「よそもの」だった若い移住者が、塩屋に惹かれ、更に塩屋を元気にしようと活動を広げています。「古民家改修」・「地域づくり」・「田舎暮らし」このような言葉に惹かれる方は、ぜひ一度足を運んでみてください。元気で、素敵なお母さんたちが新たな出会いを楽しみに待っています!

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇城市(うきし)	担当部署 企画部 地域振興課 地域振興係
(ふりがな) てらだ よしまさ	TEL: 0964-32-1906 (直通)
担当者氏名 寺田 宜正	FAX: 0964-32-2222
E-mail: chiikishinkoka@city.uki.lg.jp	※件名に「若者の地方体験交流」と記載ください
URL: http://www.city.uki.kumamoto.jp/ (宇城市役所)	
	http://www.geocities.jp/kazenoyakata_408/index.html (風の館・塩屋)
応募宛先 〒869-0592	
熊本市宇城市松橋町大野85	宇城市役所 企画部 地域振興課

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 86 : 熊本県宇城市 (旧豊野町) (人口: 60, 226人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

受入主体の豊野町:

- ① JR鹿兒島本線 松橋駅 ⇒ 徒歩5分 ⇒ 九州産交(株)松橋営業所 ⇒ 「砥用行」乗車 ⇒ バス停「南山崎」OR バス停「糸石」下車 ⇒ 徒歩10分程度
 ② 阿蘇くまもと空港⇒各種バス⇒高速バス停「益城インター口」⇒高速バス停「松橋インター」 ⇒ バス停「大鳥」乗車 ⇒ バス停「南山崎」OR バス停「糸石」下車 ⇒徒歩10分程度

(2) 事業実施の目的等

1. 受入団体の「うきのわ」は熊本地震からの復興支援センターの役割も行っており、仮設住宅の支援や解体住宅の清掃支援などにも取り組んでおり、全国の学生にも復興の現場で地域住民と共に活動する経験・人と人との繋がりを構築する。(復興支援の現場体験)
2. 若者に生活の場として地方を認識する機会を用意する。(移住者支援の現場体験)
3. 事業への参加を契機とした今後の地域の活性化を図っていく。

(3) 体験の内容

- ・復興支援の現場(仮設住宅茶話会、解体住宅の清掃支援等)での活動
- ・移住者と地元住民や子どもたちとの交流イベントへのスタッフ参加
(タケノコ掘り体験、ソーメン流し・竹箸作り体験、餅つき・ミニ門松作り体験)
- ・既存移住者や受入側の地元住民双方からの移住談義

(4) 受入主体

(5) 受入期間

地域づくり団体「うきのわ」	①復興支援関係(随時) ②移住者支援:3月~4月:タケノコ掘りイベント ③移住者支援:7月~8月:ソーメン流し、竹箸作りイベント ④移住者支援:12月:餅つき体験、ミニ門松作り体験イベント
---------------	---

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費:自己負担 宿泊費:原則無料(布団レンタル代金が必要となる場合があります。) 食事代:自己負担(料理体験等の費用。)
①要件	地域住民・移住者・子どもたちと一緒に元気に活動し、語り合える人
②応募締切り	①随時 ②~④:ひと月前を目安
③宿泊施設	熊本県宇城市豊野町「光照寺」(寺泊になります)
④食事形態	地元住民と一緒に、地域の伝統料理等を体験し、自炊
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

「うきのわ(宇城の“輪”)」は、東日本大震災後移住者して来た人を支援したいと、地元住民が中心となり平成25年2月に発足した団体です。移住者の今までの生活や移住経緯が、田舎住民には理解できず、移住者同士で孤立するケースもあり得るため、「うきのわ」は地域住民と移住者の交流を通じ、第2の故郷として地元へ根付いてもらう活動を続けて来ました。毎年、子どもたちと地元の名産「竹」をテーマにした取組を年間通じて実施し、最近では市内のALTの先生や海外からの留学生等も呼んでの国際交流体験も一緒に行っています。熊本地震後は、復興支援センターの活動も行い、仮設住宅等で様々な活動もされています。これを機会に、熊本地震からの復興に向け、全国の皆さまと一体となった繋がりを構築していければ幸いです。

(8) お問い合わせ先

自治体名 宇城市(うきし)	担当部署 企画部 地域振興課 地域振興係
(ふりがな) てらだ よしまさ	TEL:0964-32-1906(直通)
担当者氏名 寺田 宜正	FAX:0964-32-2222
E-mail:chiikishinkoka@city.uki.lg.jp ※件名に「若者の地方体験交流」と記載ください	
URL:http://www.city.uki.kumamoto.jp/ (宇城市役所) http://ukinowa.org/ (うきのわ)	
応募宛先 〒869-0592	
熊本県宇城市松橋町大野85 宇城市役所 企画部 地域振興課	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 87 : ^{なごみまち} 熊本県和水町 (人口: 10,528人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

新玉名駅より公共交通機関を使用し10分。熊本空港よりレンタカーで1時間。

(2) 事業実施の目的等

和水町は、高度成長期以降の緩やかな過疎化によって諸集落の高齢化率が40パーセント前後にあがっている。行政区によっては限界集落になっている場所もある。それにともない、地域の担い手が不足し、山間の休耕地・耕作放棄地が顕著に増えてきた。とりわけ、高齢化によって体力が必要な竹林整備という山仕事の担い手が減少してきた。コツさえつかめば初心者でもできるタケノコ掘りに注目し、地域活性化の道筋を開くことが目的である。

(3) 体験の内容

- ・タケノコ掘り
- ・竹林整備
- ・竹筒を活用した炊飯「かっぽ飯」
- ・タケノコ掘り体験イベントスタッフ (テント屋台の設置・撤収、炊飯等)

(4) 受入主体

和水町地域おこし協力隊

(5) 受入期間

3月後半から4月にかけて随時
一泊二日から応相談

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：ゲストハウス (¥3,000/1泊) or 移住推進モデルハウス (¥500/1泊) 食事代：自炊のため自己負担・イベント時無料
①要件	現地の人と楽しくタケノコを掘れる人
②応募締切り	特に締め切りは設けない。タケノコ掘りイベントは四月末の予定。
③宿泊施設	熊本県玉名郡和水町中十町 (ゲストハウス) / 上十町 (モデルハウス)
④食事形態	自炊、住民と地域特産物を使った料理
⑤その他	九州とはいえ4月まで霜が降りるため暖かい恰好で。入浴は近場の温泉を使用 (送迎あり)。タケノコ掘りには長靴と軍手が必要。

(7) 地域担当者から一言

田舎の食事も堪能でき、楽しいイベントです。ぜひおこしてください。また、竹林の整備次第ではタケノコの出荷による収益が期待できます。

(8) お問い合わせ先

自治体名 熊本県 和水町	担当部署 まちづくり推進課 地域振興係
(ふりがな) おおやま かずとく 担当者氏名 大山 和説	TEL : 0968-86-5721 (直通) FAX : 0968-86-4215
E-mail : msui@town.nagomi.lg.jp	
URL : http://www.town.nagomi.lg.jp/	
応募宛先 〒865-0192 熊本県玉名郡和水町江田 3886 番地	

若者の地方体験交流 募集概要
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 88 : 鹿児島県さつま町^{ちょう} (人口: 21,741人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

鹿児島空港から車で約40分
九州新幹線 川内駅から車で約30分, 出水駅から約35分
九州自動車道 横川ICから車で約35分

(2) 事業実施の目的等

本町の居住環境・地域資源を体感してもらうことで、わが町の魅力を伝え、大学生などの若年者層に対して地方での活動に対する関心をさらに深めてもらうことを目的とする。

(3) 体験の内容

- ・ 伝統工芸体験 (薩摩切子のカットガラス体験, 竹細工体験, 手漉き和紙体験)
- ・ 農業体験 (水稲, 梅やトマト, きんかんなどの季節野菜の収穫)

(4) 受入主体

さつま町

(5) 受入期間

4月1日(土) ~ 3月31日(木)
(随時対応, 応相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 補助あり (移住体験ツアー参加の場合のみ) 宿泊費: 補助あり (移住体験ツアー参加の場合のみ) 食事代: 補助あり (移住体験ツアー参加の場合のみ)
①要件	地方への移住や活動に関心のある方,
②応募締切り	ツアー以外については, 随時対応可能
③宿泊施設	移住促進交流施設「さつま体験宿」(移住体験ハウス), 農家民宿, 旅館など
④食事形態	自炊 (家電, 食器等あり)
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

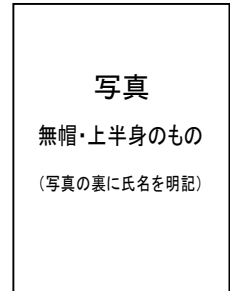
さつま町は鹿児島空港から約40分の場所に位置し, 盆地地形から生まれる寒暖の差を活かした農業などが盛んな地域です。平成29年度から移住体験ハウスを中心とする受け入れも可能となりますので, ゼミ単位でのインターンシップなどで是非ご利用ください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 鹿児島県さつま町	担当部署 企業誘致対策室 移住定住担当
(ふりがな) たかき しげのり 担当者氏名 高木 繁典	TEL: 0996-53-1111 (内線 2171) FAX: 0996-52-3514
E-mail: shoko-yuuchi@satsuma-net.jp	
URL: http://www.satsuma-net.jp	
応募宛先 〒 895-1803 鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地 1565-2	

平成29年 月 日 現在

募集地域参加申込書



1. お名前：^{ふりがな} _____ (男・女)
2. 生年月日：西暦 年 月 日 (出身地： _____)
* 都道府県で記入

3. (大学、大学院、専門学校等に在学の場合に記入)
学校、学部名： _____ () 年
- * 学部、学科、専攻などを明記してください (在学中の方は学年も記入してください)。

研究テーマ等： _____

* 卒論または現在研究中のテーマがある場合は記入してください。

4. 資格・特技・趣味など (選考の参考になりますので、体験内容に係るものは必ず記入してください。)

5. 自己PR

6. 住 所
〒 _____

連絡先：選考などに関して、募集地域などから連絡を行う場合があります。
(『Eメール(携帯)』で、ドメイン指定受信を設定している場合、希望するNo.自募集地域からのメールが受信できるようあらかじめ設定をお願いいたします。)

電話(自宅)： _____ Eメール(PC)： _____

電話(携帯)： _____ Eメール(携帯)： _____

※ご記入いただいた内容は当事業以外の目的で使用しません。

◆小論文記入用紙◆

テーマ：①インターン事業に期待すること ②地域に対して自分が貢献できそうなこと

氏名： _____

① インターン事業に期待すること

②地域に対して自分が貢献できそうなこと（例、得意技、得意テーマ、体力、熱意など）

*各テーマ400字程度でまとめてください。
*できるだけワープロ打ちをお願いします。（貼付又は別紙可）

連絡先

国土交通省 国土政策局 地方振興課

〒100-8918 千代田区霞ヶ関2-1-3

電話：03-5253-8404 FAX：03-5253-1588

URL：http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html

